

令和4年度 事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)



学校法人 順天堂

順天堂大学 5キャンパス6附属病院群

- ① 本郷・お茶の水キャンパス
大学・大学院・法人本部
医学部
国際教養学部
保健医療学部
3大学院研究科
順天堂医院
(医院の名を継承しています)

- ⑥ 練馬病院



- ④ 順天堂越谷病院



- ③ 浦安病院



- ⑤ 順天堂東京江東高齢者医療センター



- ② 静岡病院



- ② さくらキャンパス
スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学研究科



- ③ 浦安キャンパス
医療看護学部
医療看護学研究科

- ⑤ 浦安・日の出
キャンパス
医療科学部
健康データサイエンス学部

- ④ 三島キャンパス
保健看護学部
医療看護学
研究科



<https://www.juntendo.ac.jp/>



順天堂の「順天」は、中国の古典『易経』にある「順天応人」（天の意志に順い、人々の期待に応える）と、孟子の言葉の「順天者存。逆天者亡」（自然の摂理に順うものは存続して栄え、天の理法に逆らうものは亡びる）に由来します。



A 法人章 B 法人章
「意匠登録」：1996（平成8）年

A法人章：仁義礼智信…の“仁”をデザイン化したとされ、明治初期の順天堂医院診察券や薬袋、佐藤尚中の肖像や医専の校章に使用されています。

B法人章：佐藤の“サ”又はA 法人章を大学の“大”へデザイン化したとされています。<1957（昭和32）年制定>



平成21年6月に制定された「ロゴマーク」は、本学の式典旗、発行する印刷物、ホームページ、文具類等の物品、本学公認の学生サークルの団旗等に使用されます。



2023年 順天堂創立185周年

開塾：1838年（天保9年）



順天堂の沿革



順天堂は、江戸後期の天保9(1838)年、今から185年前に学祖・佐藤泰然が江戸・薬研堀に設立したオランダ医学塾（和田塾）に端を発し、いまに繋がる日本最古の西洋医学塾です。

幕末、攘夷・洋学排斥の動きもあり、江戸より下総国佐倉に移った順天堂には、全国各地より百数十名を超える俊英が参集し、「日新の医学、佐倉の林中より生ず」と今に語り継がれるが如き、西洋医学研究・教育、そして臨床医学実践の場となりました。

順天堂第二代堂主・佐藤尚中は、明治2(1869)年、明治新政府の要請を受け、佐倉より多数の門下生を率いて上京し、宮内省「大典医」(明治天皇の主治医団長)・文部省「大学大博士」第一号を拝命し、大学東校(現 東京大学医学部の前身)の初代校長として近代医学教育確立に尽力し、西洋医学教育最高学府(東京帝国大学医学部)の礎を固めました。順天堂堂主に帰任した佐藤尚中は佐藤進らと順天堂醫事研究会を設立し、順天堂医院と醫事研究会を基盤に医師の育成を発展させました。順天堂に学んだ者は医師開業試験を免除されました。済生学舎、済衆舎、博愛舎を始めとする多くの医学校の設立を助け、その学生及び卒業生(野口英世ら)は順天堂で臨床教育を受けました。これら医学校を母体として、その後日本医科大学、東京医科大学、東京女子医科大学など多くの大学が誕生していきます。

佐藤進は、明治2(1869)年、明治新政府発行の旅券第一号をもってドイツに留学し、明治7(1874)年、アジア人として最初のベルリン大学医学部卒業生、そして医学博士となりました。ドイツより帰国した佐藤進は、佐藤尚中と共に医師育成を続け、明治8(1875)年10月に日本初の医学雑誌『順天堂醫事雑誌(現在は欧文誌、Juntendo Medical Journal:JMJとして)』を発刊し、近代医学情報を日本全国に発信しました。第三代堂主となった佐藤進は、順天堂医院長在任中に陸軍本病院長や日清・日露両戦役の陸軍軍医総監など国家枢要の職を兼任して国難に対峙しました。明治18(1885)年、順天堂医院長在任中に、東京大学医学部附属第一医院及び第二医院の院長、また大韓医院(現ソウル大学医学部)を設立し、初代院長・医学部長をも兼任するなど、日本そしてアジアにおける西洋医学教育普及のリーダーとなりました。

第四代堂主(初代理事長)・佐藤達次郎は、順天堂醫事研究会を母体に医学専門学校を開設し、順天堂医科大学へと発展させ、昭和26(1951)年、体育学部(現在のスポーツ健康科学部)を東俊郎を初代学部長として併設し順天堂大学と致しました。順天堂の院

長を続けつつ東京医科大学創立に尽力し、初代学長、次いで理事長として、その発展を支えました。

第五代堂主(理事長)・有山登は、大学・病院の施設設備を拡充・整備させ、昭和34(1959)年、大学院医学研究科・博士課程を開設し、昭和46(1971)年、大学院体育学研究科・修士課程(現在の大学院スポーツ健康科学研究科・博士前期課程)を開設しました。更に、昭和42(1967)年、順天堂第2番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属伊豆長岡病院(94床)(現在の静岡病院)」を開院し、順天堂大学の地方への更なる発展を進めました。

第六代堂主(理事長)・東健彦は、昭和59(1984)年、順天堂第3番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属浦安病院(250床)」を開院しました。昭和61(1986)年、厳しい運営事情の中、順天堂創立150周年記念事業として、①医学部附属順天堂医院本館(新1号館)の建設、②体育学部新キャンパス移転、③順天堂高等看護専門学校を改組し、医療短期大学を設立し、本郷より浦安市への移転を計画しました。

第七代堂主(理事長)・懸田克躬は、昭和63(1988)年、体育学部を習志野キャンパスからさくらキャンパス(現在の印西市)へ移転し、平成元(1989)年、順天堂医療短期大学を浦安キャンパスに開学しました。更に、財団法人順天堂精神医学研究所附属順天堂越谷病院を順天堂第4番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院(221床)」に改組しました。

第八代堂主(理事長)・石井昌三は、平成5(1993)年、体育学部をスポーツ健康科学部へと改組しました。そして順天堂医院本館(1号館)を完成させ、これにより順天堂創立150周年記念事業が完結されました。この間、静岡病院の拡張・増床など、医学部附属病院群としての地域医療機能充実に努めました。

順天堂の看護師養成の歴史も古く、明治29(1896)年、佐藤進は杉本かね[本邦初の看護取締(総婦長)]を登用し、看護婦養成所を開設し、歴代堂主・理事長は講習所、看護学院、准看護婦学院、医学部附属高等看護婦学校、高等看護学校、看護専門学校、医療短期大学(3年制)へと組織体制の転換を進めつつ看護教育を発展させてきました。

そして、**第九代堂主(理事長)・小川秀興**は、平成12(2000)年、学長就任を機として、当時の石井理事長の了承を得て、大学運営の抜本的改革を果すべく、全職域横断的“学長室委員会(現大学運営連絡協議会：運連協)”を設立し、“大学改革20のプロジェクト”を掲げ、次々と斬新的改革を提案・説明・実行していきました。平成16(2004)年、理事長就任後、この委員会はプロジェクトをその時代と状況に応じて変えつつ、大学運営連絡協議会と名前を改め、現在も継続しております。その結果として、

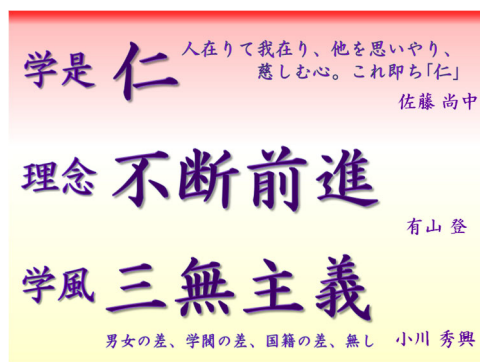
- 1.平成12(2000)年、大学院スポーツ健康科学研究科・博士課程が開設されました。
- 2.平成16(2004)年、医療短期大学(3年制)を廃し、順天堂大学第3の学部として4年制の医療看護学部(千葉県浦安市)が開設、拡充されました。

- 3.平成 14 (2002) 年 6 月、東京都江東高齢者医療センターが開院し、平成 16 (2004) 年 4 月より東京都から順天堂に運営移管され、順天堂第 5 番目の医学部附属病院「順天堂東京江東高齢者医療センター」となりました。
- 4.平成 19 (2007) 年、医療看護学部に大学院医療看護学研究科・修士課程が開設されました。
- 5.平成 22 (2010) 年、第 4 の学部として保健看護学部 (静岡県三島市) が開設されました。
- 6.平成 25 (2013) 年には、海外からの留学生や国内の医学士以外の研究者の為に大学院医学研究科・修士課程が開設されました。
- 7.練馬区における病院誘致計画を進め、多数の応募医療機関の中から病院運営者として選定され、平成 17 (2005) 年、順天堂第 6 番目の医学部附属病院「練馬病院」が開院されました。
- 8.大学内に文部科学省 (文部省) などの認可・助成を受け、最先端の教育研究基盤として、以下のセンター・研究所が設立されました。
 - ①平成 10 (1998) 年:アトピー疾患研究センター
 - ②平成 11 (1999) 年:疾患モデル研究センター
 - ③平成 12 (2000) 年:老人性疾患病態・治療研究センター
 - ④平成 14 (2002) 年:環境医学研究所
 - ⑤平成 15 (2003) 年:感染制御科学研究センター
 - ⑥平成 17 (2005) 年:スポーツ健康医科学研究所
 - ⑦平成 19 (2007) 年:スポーツロジックセンター
 - ⑧平成 20 (2008) 年:国際交流センター
 - ⑨平成 25 (2013) 年:ゲノム・再生医療センター
 - ⑩平成 25 (2013) 年:先導的がん医療開発研究センター
 - ⑪平成 26 (2014) 年:女性スポーツ研究センター
 - ⑫平成 27 (2015) 年:静岡災害医学研究センター
 - ⑬平成 28 (2016) 年:難病の診断と治療研究センター
 - ⑭平成 29 (2017) 年:革新的医療技術開発研究センター (オープンイノベーション「GAUDI」)
 - ⑮令和元 (2019) 年:順天堂かゆみ研究センター
 - ⑯令和 3 (2021) 年:ジェロントロジー研究センター
 - ⑰令和 3 (2021) 年:脳血管内治療学研究センター
 - ⑱令和 3 (2021) 年:AI インキュベーションファーム
 - ⑲令和 4 (2022) 年:シミュレーション教育研究センター
- 9.平成 17 (2005) 年度から開設した寄付講座、平成 28 (2016) 年度から開設した共同研究講座及び令和 3 (2021) 年度から開設した産学協同研究講座は年々増加し、令和 4 (2022) 年度には共同研究講座 50 件、寄付講座 13 件、産学協同研究講座 3 件の計 66 講座が設置されています。

- 10.平成 27 (2015) 年、第 5 の学部として国際教養学部が開設され、国際総合大学・大学院大学としての基盤を固めました。
- 11.平成 31 (2019) 年、第 6 の学部となる保健医療学部理学療法学科・診療放射線学科が開設されました。
- 12.令和 4 (2022) 年、千葉県浦安市日の出地区の校地に「浦安・日の出キャンパス」が開設され、第 7 の学部となる医療科学部臨床検査学科・臨床工学科が開設されました。
- 13.令和 5 (2023) 年、浦安・日の出キャンパスに第 8 の学部として健康データサイエンス学部が開設され、第 9 の学部として薬学部（仮称）の設置が計画されています。また、第 4 の大学院研究科として保健医療学部を基礎として大学院保健医療学研究科が開設され、第 5 の大学院研究科として大学院国際教養学研究科（仮称）の設置が計画されています。

順天堂は、附属 6 病院合計で総病床数 3,589 床を有し、日本最大規模の強固なネットワークを形成しています。先進医療、地域医療、救急医療、周産期医療、高齢者医療、精神医療、がん治療、新規医薬品・医療材料・機器の開発など、国民の医療ニーズに幅広く対応する高い専門性を発揮し、総合力に秀でた医育機関として発展するとともに、令和元 (2019) 年 7 月に外国人患者の急増に対応して国際診療部を設置するなど国際レベルでの病診・病病連携を強めております。

現在、国際連携大学・研究所としては、北京大学、第四軍医大学 (西安)、中国医科大学、中日友好医院 (北京)、タイ国立皮膚病学研究所 (バンコク)、ベトナム軍医大学、メイヨークリニック、MD アンダーソンがんセンター、シャリテ医科 (ベルリン) 大学などがあり、国際交流協定校も約 80 校に達し、海外からの留学生・研究生は増え続けています。



本学は「不断前進」の理念のもとに学是「仁」を大切にしながら、出身校、国籍、性別の差別のない“三無主義”を学風として掲げ、8 学部 4 研究科 6 附属病院からなる「健康総合大学・大学院大学」として教育・研究・医療そしてリベラル・アーツを通じて国際レベルでの社会貢献と人材育成を進めております。

2023 年 5 月 15 日 (創立記念日)
学校法人 順 天 堂
理事長 小 川 秀 興

1. 法人の設置する学校

研究科・学部名称		所在地	沿革
大学院	医学研究科	修士課程	平成24. 11. 大学院医学研究科（修士課程）設置認可。 平成25. 4. 同 開設。
		博士課程	昭和34. 3. 大学院医学研究科（博士課程）設置認可。 昭和34. 4. 同 開設。
	スポーツ健康科学研究科	博士前期課程	昭和46. 3. 大学院体育学研究科（修士課程）設置認可。 昭和46. 4. 同 開設。 平成 9. 4. 大学院スポーツ健康科学研究科博士前期課程に改称。
		博士後期課程	平成11. 12. 大学院スポーツ健康科学研究科博士後期課程設置認可。 平成12. 4. 同 開設。
	医療看護学研究科	博士前期課程	平成18. 11. 大学院医療看護学研究科（修士課程）設置認可。 平成19. 4. 同 開設。 平成26. 4. 同 修士課程を博士前期課程に名称変更。
		博士後期課程	平成25. 10. 大学院医療看護学研究科（博士後期課程）設置認可。 平成26. 4. 同 開設。
学部	医学部 医学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	天保9年(1838年)西洋医学塾開塾。以降、江戸(薬研堀)から佐倉(千葉)、東京下谷練堀町、本郷湯島の順天堂醫院にて多くの西洋医学者を育成。 昭和18. 12. (財)順天堂医学専門学校設立認可。 昭和21. 5. (財)順天堂医科大学設置認可。 昭和26. 2. (学)順天堂医科大学認可。 昭和26. 6. 順天堂大学体育学部Ⅱ類(医学進学コース)開設。 昭和27. 2. 新制順天堂大学医学部設置認可。 昭和27. 4. 順天堂大学医学部開設。
	スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科 スポーツ科学科※ スポーツマネジメント学科※ 健康学科※	千葉県印西市平賀学園台1丁目1番地	昭和26. 6. 体育学部Ⅰ類(体育学専攻、健康教育学専攻)開設。 昭和46. 1. 体育学部(体育学科、健康学科)設置認可。 平成 4. 12. スポーツ健康科学部設置認可。 平成 5. 4. 体育学部をスポーツ健康科学部へ改組。スポーツ科学科、スポーツマネジメント学科、健康学科設置。 令和 2. 4. スポーツ健康科学科設置届出。 令和 3. 4. スポーツ健康科学科開設。※スポーツ科学科、スポーツマネジメント学科、健康学科学学生募集停止
			(看護教育沿革) 明治29. 10. 順天堂医院看護婦養成所開設。 昭和29. 4. 順天堂大学医学部附属順天堂准看護婦学院設置。 昭和36. 3. 同高等看護婦学校開設。 昭和38. 4. 順天堂高等看護学校へ改組。 昭和51. 11. 順天堂看護専門学校へ名称変更。
	医療看護学部 看護学科	千葉県浦安市高洲2丁目5番1号	平成元. 4. 順天堂医療短期大学開設。 平成15. 11. 医療看護学部設置認可。 平成16. 4. 順天堂医療短期大学を順天堂大学医療看護学部へ改組。 平成19. 6. 同短期大学廃止。
	保健看護学部 看護学科	静岡県三島市大宮町3丁目7番33号	平成21. 6. 保健看護学部設置届出。 平成21. 9. 学部設置に伴う収容定員関係学則変更認可。 平成21. 10. 保健師看護師学校指定。 平成22. 4. 保健看護学部開設。
	国際教養学部 国際教養学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	平成26. 12. 国際教養学部設置認可。 平成27. 4. 同 開設。
	保健医療学部 理学療法学科 診療放射線学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	平成30. 8. 保健医療学部理学療法学科・診療放射線学科設置認可。 平成31. 4. 同 開設。
	医療科学部 臨床検査学科 臨床工学科	千葉県浦安市日の出6丁目8番1号	令和 3. 4. 医療科学部臨床検査学科・臨床工学科設置届出。 令和 3. 6. 学部設置に伴う収容定員関係学則変更認可。 令和 4. 4. 同 開設。

2. 医学部附属病院

病院名称	開設年月日	病床数	所在地
順天堂医院	明治 6. 2. 2	1,051 床	東京都文京区本郷3丁目1番3号
静岡病院	昭和 42. 4. 1	602 床	静岡県伊豆の国市長岡 1129 番地
浦安病院	昭和 59. 5. 15	785 床	千葉県浦安市富岡 2 丁目 1 番 1 号
順天堂越谷病院	平成 元. 4. 1	226 床	埼玉県越谷市袋山 560 番地
順天堂東京江東高齢者医療センター	平成 14. 6. 3	404 床	東京都江東区新砂 3 丁目 3 番 20 号
練馬病院	平成 17. 7. 1	490 床	東京都練馬区高野台 3 丁目 1 番 10 号
合 計		3,558 床	

※病床数は令和5年3月31日現在の稼働数

3. 研究科・学部一覧

研究科・学部・学科名称		取得学位	研究科長・学部長・学科長
大学院	医学研究科	修士（医科学） 博士（医学）	服 部 信 孝
	スポーツ健康科学研究科	修士（スポーツ健康科学） 博士（ " ）	和 氣 秀 文
	医療看護学研究科	修士（看護学） 博士（ " ）	植 木 純
学部	医学部 医学科	学士（医学）	服 部 信 孝
	スポーツ健康科学部	学士（学位名は下記のとおり）	和 氣 秀 文
	スポーツ健康科学科	学士（スポーツ健康科学）	—
	スポーツ科学科※	学士（スポーツ科学）	中 村 充
	スポーツマネジメント学科※	学士（スポーツマネジメント学）	廣 津 信 義
	健康学科※	学士（健康学）	久保原 禪
	医療看護学部 看護学科	学士（看護学）	植 木 純
	保健看護学部 看護学科	学士（看護学）	小 池 道 明
	国際教養学部 国際教養学科	学士（国際教養学）	加 藤 洋 一
	保健医療学部	学士（学位名は下記のとおり）	代 田 浩 之
	理学療法学科	学士（理学療法学）	藤 原 俊 之
	診療放射線学科	学士（放射線技術学）	京 極 伸 介
	医療科学部	学士（学位名は下記のとおり）	長 岡 功
	臨床検査学科	学士（臨床検査学）	三 宅 一 徳
臨床工学科	学士（臨床工学）	峰 島 三千男	

※スポーツ科学科、スポーツマネジメント学科、健康学科は令和3年4月学生募集停止

4. 大学院附属研究センター及び大学附属研究センター

研究センター名称	センター長	開設時の文部科学省補助事業	開設年月日	初代センター長
アトピー疾患研究センター	奥村 康	学術フロンティア推進事業	平成 10. 11. 19	小川 秀興
疾患モデル研究センター	服部 信孝	学術フロンティア推進事業	平成 11. 4. 1	小川 秀興
老人性疾患病態・治療研究センター	内山 安男	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成 12. 3. 21	水野 美邦
環境医学研究所	高森 建二	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成 14. 9. 19	小川 秀興
研究基盤センター	服部 信孝	—	平成 15. 10. 1	木南 英紀
スポーツ健康医科学研究所	内藤 久士	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成 17. 10. 1	小川 秀興
スポーツロジックセンター	河盛 隆造	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成 19. 4. 24	小川 秀興
国際交流センター	小川 秀興	—	平成 20. 11. 1	小川 秀興
ゲノム・再生医療センター	新井 一	戦略的研究基盤形成支援事業	平成 25. 10. 1	新井 一
先導的がん医療開発研究センター	服部 信孝	研究拠点形成費等補助金	平成 25. 11. 1	新井 一
女性スポーツ研究センター	小笠原悦子	戦略的研究基盤形成支援事業	平成 26. 8. 1	小笠原悦子
静岡災害医学研究センター	佐藤 浩一	戦略的研究基盤形成支援事業	平成 27. 10. 1	佐藤 浩一
難病の診断と治療研究センター	岡崎 康司	—	平成 28. 4. 1	新井 一
ジェロントロジー研究センター	佐藤 信紘	—	令和 3. 1. 1	佐藤 信紘
脳血管内治療学研究センター	大石 英則	—	令和 3. 6. 1	大石 英則
AI インキュベーションファーム	服部 信孝	—	令和 3. 12. 1	服部 信孝
シミュレーション教育研究センター	植木 純	—	令和 4. 4. 1	植木 純

5. 法人の設置する大学院・大学の入学定員、学生数等

研究科・学部・学科名称		修業年限	入学定員	入学者※1	収容定員	在籍者※2,3							
						1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次		
大学院	医学研究科	修士課程	2年	60	98	120	176	98 (60)	78 (60)	-	-	-	-
		博士課程	4年	180	206	700	689	202 (180)	171 (180)	159 (180)	157 (160)	-	-
	スポーツ健康科学研究科	博士前期課程	2年	61	67	122	128	67 (61)	61 (61)	-	-	-	-
		博士後期課程	3年	10	11	30	47	11 (10)	13 (10)	23 (10)	-	-	-
	医療看護学研究科	博士前期課程	2年	29	33	54	63	33 (29)	30 (25)	-	-	-	-
		博士後期課程	3年	12	8	32	34	8 (12)	10 (10)	16 (10)	-	-	-
大学院 計				352	423	1,058	1,137	419 (352)	363 (346)	198 (200)	157 (160)	-	-
学部	医学部 医学科		6年	138	138	826	826	140 (138)	134 (136)	136 (135)	139 (140)	141 (140)	136 (137)
	スポーツ健康科学部		4年	600	619	2,020	2,030	616 (600)	599 (600)	415 (410)	400 (410)	-	-
	スポーツ健康科学科		4年	600	619	1,200	1,215	616 (600)	599 (600)	-	-	-	-
	スポーツ科学科※4		4年	-	-	500	496	-	-	252 (250)	244 (250)	-	-
	スポーツマネジメント学科※4		4年	-	-	160	158	-	-	81 (80)	77 (80)	-	-
	健康学科※4		4年	-	-	160	161	-	-	82 (80)	79 (80)	-	-
	医療看護学部 看護学科		4年	220	212	820	812	212 (220)	203 (200)	203 (200)	194 (200)	-	-
	保健看護学部 看護学科		4年	130	134	490	500	133 (130)	121 (120)	122 (120)	124 (120)	-	-
	国際教養学部 国際教養学科		4年	240	236	960	937	241 (240)	231 (240)	232 (240)	233 (240)	-	-
	保健医療学部		4年	240	244	960	957	244 (240)	240 (240)	236 (240)	237 (240)	-	-
	理学療法学科		4年	120	122	480	479	122 (120)	120 (120)	119 (120)	118 (120)	-	-
	診療放射線学科		4年	120	122	480	478	122 (120)	120 (120)	117 (120)	119 (120)	-	-
	医療科学部		4年	180	182	180	182	182 (180)	-	-	-	-	-
	臨床検査学科		4年	110	112	110	110	112 (110)	-	-	-	-	-
	臨床工学科		4年	70	70	70	70	70 (70)	-	-	-	-	-
学部 計				1,748	1,765	6,256	6,244	1,768 (1,748)	1,528 (1,536)	1,344 (1,345)	1,327 (1,350)	141 (140)	136 (137)

※1 入学者欄は令和4年4月に入学した学生数

※2 在籍者欄は令和5年3月31日における学生数

※3 在籍者欄下段は、該当年次入学時の入学定員数

※4 スポーツ科学科、スポーツマネジメント学科、健康学科は令和3年4月学生募集停止

6. 役員

区分	氏名	主な役職
理事長	小川 秀興	
理事	新井 一	学長
	木南 英紀	学長特別補佐
	服部 信孝	医学部長、大学院医学研究科長
	和氣 秀文	スポーツ健康科学部長、大学院スポーツ健康科学研究科長
	植木 純	医療看護学部長、大学院医療看護学研究科長
	小池 道明	保健看護学部長
	加藤 洋一	国際教養学部長
	代田 浩之	保健医療学部長
	長岡 功	医療科学部長
	高橋 和久	順天堂医院長
	佐藤 浩一	静岡病院長
	田中 裕	浦安病院長
	鈴木 利人	順天堂越谷病院長
	宮嶋 雅一	順天堂東京江東高齢者医療センター院長
	児島 邦明	練馬病院長
	宮野 武	練馬病院名誉院長
	高森 建二	大学院医学研究科環境医学研究所長
	佐藤 信紘	大学院医学研究科ジェロントロジー研究センター長
	天野 篤	大学院医学研究科特任教授
	内藤 久士	大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康医科学研究所長
多田 宏	非常勤	
永田 良一	非常勤	
監事	辛島 睦	非常勤
	濱本 英輔	非常勤

7. 評議員

＜選任条項順に記載＞

児島 邦明 田中 裕 大熊 泰之 桑鶴 良平 坂本 一博 池田 志孝 清水 俊明
 青木 和浩 鈴木 大地 吉村 雅文 ミヨシバ フランソワ 細谷 芳三 小林 忠彦 岡田 綾
 佐藤 潔 長岡 功 高森 建二 代田 浩之 中澤 真逸 澤木 啓祐 土屋 清子
 小川 秀興 新井 一 服部 信孝 和氣 秀文 植木 純 小池 道明 加藤 洋一
 高橋 和久 佐藤 浩一 多田 宏 佐藤 信紘 木南 英紀 宮野 武 鈴木 利人
 宮嶋 雅一 天野 篤 丸木 親 永田 良一 奥村 康 岡田 隆夫 吉田 幸洋
 小林 茂人 内藤 久士 稲富 恵子 岩渕 和久 宮川 政久 加納 實 幅下 貞美
 (計 49名)

8. 教職員数

(1) 教員数

(令和5年3月31日現在)

(単位：名)

学長
1

	教授	先任准教授	准教授	講師	助教	助手	常勤計	非常勤	計
大 学 院	240	16	66	5	53	4	384	309	693
(内訳)									
医学研究科	208	12	65	5	51	3	344	229	573
スポーツ健康科学研究科	18	3	0	0	2	1	24	10	34
医療看護学研究科	14	1	1	0	0	0	16	70	86
学 部	58	126	376	26	430	458	1,474	2,942	4,416
(内訳)									
医 学 部	6	91	306	8	366	450	1,227	2,550	3,777
スポーツ健康科学部	5	12	23	0	19	5	64	127	191
医療看護学部	0	6	20	2	25	1	54	73	127
保健看護学部	12	5	5	7	6	2	37	54	91
国際教養学部	12	6	10	4	3	0	35	92	127
保健医療学部	13	5	9	4	9	0	40	27	67
医療科学部	10	1	3	1	2	0	17	19	36
法人・総務局	3	0	1	0	1	0	5	2	7
合 計	301	142	443	31	484	462	1,863	3,253	5,116

※上記内、併任教員数

教員数合計(本務・併任合計)

	教授	准教授	講師	助教	計
大学院本務教員 内学部併任教員	175	55	0	25	255
学部本務教員内 大学院併任教員	4	403	7	34	448

	教員数
大学院	1,113
学 部	4,574

(2) 職員数

事務職	技術職	医療職	教務職	その他	計
829	18	4,965	37	58	5,907

教職員合計
11,024

<参考：令和4年度臨床研修医受入数(括弧内は令和4年度新規受入数)>

順天堂医院	静岡病院	浦安病院	練馬病院	計
82 (40)	47 (23)	83 (38)	68 (35)	280 (136)

9. 研究費・補助金

(1) 補助金

① 文部科学省・(独) 日本学術振興会：科学研究費助成事業

研究種目名	区分	採択件数 (件)		直接経費 (千円)		間接経費 (千円)	
新学術領域研究 (研究領域提案型)	新規	4	7	8,600	87,900	2,580	26,370
	継続	3		79,300		23,790	
基盤研究(A)	新規	3	8	36,500	69,400	10,950	20,820
	継続	5		32,900		9,870	
基盤研究(B)	新規	17	54	83,900	210,900	25,170	63,270
	継続	37		127,000		38,100	
基盤研究(C)	新規	126	374	148,600	369,200	44,580	110,760
	継続	248		220,600		66,180	
若手研究	新規	85	209	122,200	233,200	36,660	69,960
	継続	124		111,000		33,300	
挑戦的研究(開拓)	新規	1	2	7,000	12,000	2,100	3,600
	継続	1		5,000		1,500	
挑戦的研究(萌芽)	新規	3	10	6,700	18,700	2,010	5,610
	継続	7		12,000		3,600	
研究活動スタート支援	新規	21	40	23,100	45,100	6,930	13,530
	継続	19		22,000		6,600	
国際共同研究強化(A)	新規	3	3	34,400	34,400	10,320	10,320
	継続						
国際共同研究強化(B)	新規	1	6	500	17,000	150	5,100
	継続	5		16,500		4,950	
特別研究員奨励費	新規	6	8	5,600	6,500	690	990
	継続	2		900		300	
研究成果公開促進費	新規	1	1	2,500	2,500	0	0
	継続						
奨励研究	新規	7	7	3,190	3,190	0	0
	継続						
合計	新規	278	729	482,790	1,109,990	142,140	330,330
	継続	451		627,200		188,190	

② 文部科学省：科学技術人材育成費補助金

事業名	採択件数(件)	決定額(千円)
卓越研究員事業	1	20,000
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(女性リーダー育成型)	1	11,260
合計	2	31,260

③ 厚生労働省：厚生労働科学研究費補助金、厚生労働行政推進調査事業費補助金

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
政策科学総合研究事業(臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業)	1	23,077	6,923
厚生労働科学特別研究事業	1	1,346	254
障害者政策総合研究事業	1	9,294	2,786
新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業	1	707,141	197,761
エイズ対策政策研究事業	1	9,001	2,700
地域医療基盤開発推進研究事業	3	4,193	1,255
健康安全・危機管理対策総合研究事業	1	2,142	641
合計	9	756,194	212,320

④ 厚生労働省：労災疾病臨床研究事業費補助金

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
労災疾病臨床研究事業費補助金	1	9,100	2,730
合計	1	9,100	2,730

⑤ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費等(千円)
医療技術実用化総合促進事業	1	177,200	17,720
合計	1	177,200	17,720

(2) 委託費

① 文部科学省

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
先端的スポーツ医学研究推進事業	1	45,302	4,530
合計	1	45,302	4,530

② 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費等(千円)
次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業	1	39,985	11,996
創薬基盤推進研究事業	2	74,077	13,223
次世代がん医療加速化研究事業	2	20,000	6,000
再生医療実用化研究事業	5	212,633	63,790
再生医療実現拠点ネットワークプログラム	2	45,000	13,500
革新的がん医療実用化研究事業	1	15,000	4,500
障害者対策総合研究開発事業(その他)	1	6,632	646
脳とこころの研究推進プログラム	2	142,000	42,600
難治性疾患実用化研究事業	3	47,000	14,100
革新的先端研究開発支援事業	4	122,590	36,777
医療機器等研究成果展開事業	1	20,000	6,000
医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業	2	30,777	9,233
ゲノム創薬基盤推進研究事業	1	28,500	8,550
創薬支援推進事業	1	10,600	1,060
予防・健康づくりの社会実装に向けた研究開発基盤整備事業	1	23,000	6,900
ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム	1	19,000	5,700
新興・再興感染症研究基盤創生事業	1	10,600	3,180
脳とこころの研究推進プログラム(精神・神経疾患メカニズム解明プロジェクト)	2	105,000	31,500
合計	33	972,394	279,255

③ 国立研究開発法人科学技術振興機構

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
ムーンショット型研究開発事業	1	38,769	11,631
創発的研究支援事業	4	26,380	7,914
合計	5	65,149	19,545

④ 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
希少疾病用再生医療品等開発支援事業	1	24,348	3,652
合計	1	24,348	3,652

⑤ 独立行政法人国際協力機構

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
地球規模課題対応国際科学技術協力(SATREPS) 第1期(2022年6月15日~2024年6月30日)	1	189,934	0
合計	1	189,934	0

10. 寄付講座・共同研究講座・産学協同研究講座

(1) 寄付講座

講座名	寄付者	設置期間	責任者等
先進糖尿病治療学講座	(非公開)	H18. 4. 1 ～R 5. 3. 31	代謝内分泌内科学 教授 綿田 裕孝
地域総合診療研究講座 (越谷市)	埼玉県越谷市	H23. 5. 1 ～R 8. 3. 31	医学研究科 研究科長 服部 信孝
運動障害疾患病態研究・ 治療講座	日本メドトロニック株式会社 ポストン・サイエンティフィックジャパン株式会社 帝人ファーマ株式会社 (共同研究) アッヴィ合同会社 (～R4. 3. 31) (1社非公開)	H24. 4. 1 ～R 6. 3. 31	神経学 教授 服部 信孝
脳神経血管内治療学講座	テルモ株式会社 日本ストライカー株式会社 株式会社カネカメディックス 日本メドトロニック株式会社	H24. 8. 1 ～R 6. 7. 31	脳神経外科学 教授 近藤 聡英
遺伝子疾患先端情報学講 座	大塚製薬株式会社 ジェネシスヘルスケア株式会社 (～R5. 3. 31) 日本新薬株式会社 (～R5. 3. 31) 株式会社食文化 ロート製薬株式会社	H26. 4. 1 ～R 8. 3. 31	泌尿器外科学 教授 堀江 重郎
心血管睡眠呼吸医学講座	株式会社フィリップス・ジャパン フクダ電子株式会社 レスメド株式会社	H27. 4. 1 ～R 6. 3. 31	循環器内科学 教授 南野 徹
乳酸菌生体機能研究講座	明治ホールディングス株式会社	H27. 4. 1 ～R 6. 3. 31	免疫学 特任教授 奥村 康
腸内フローラ研究講座	森永乳業株式会社	H29. 4. 1 ～R 5. 3. 31	特任教授 佐藤 信紘
マイクロバイオーム研究 講座	アサヒグループホールディングス株式会社	H30. 3. 1 ～R 6. 2. 29	医学研究科 研究科長 服部 信孝
先進血液病態学講座	ファーマエッセンシアジャパン株式会社	R 3. 3. 1 ～R 6. 2. 29	血液学 特任教授 小松 則夫
脳疾患連携分野研究講座	イドルシアファーマシューティカルズジャパン株式会社	R 3. 4. 1 ～R 6. 3. 31	脳神経外科学 教授 近藤 聡英
骨関節疾患地域医療・研 究講座	茨城県 茨城県神栖市	R 4. 4. 1 ～R 7. 3. 31	整形外科・運動器医学 教授 石島 旨章
ホスピタリスト研究実践 講座	公益財団法人 星総合病院	R 4. 4. 1 ～R 7. 3. 31	総合診療科学 教授 内藤 俊夫

(2) 共同研究講座

講座名	共同研究者	設置期間	責任者等
次世代血液検査医学講座	シスメックス株式会社	H28. 12. 1 ～R 4. 11. 30	次世代血液検査医学講座 教授 田部 陽子
オートファジー調節化合物探索研究講座	住友ファーマ株式会社	H29. 4. 1 ～R 8. 3. 31	神経学 教授 服部 信孝
居住環境神経生理学研究講座	株式会社フジタ	H29. 7. 1 ～R 5. 3. 31	病院管理学 教授 小林 弘幸
創傷治癒学先端研究講座	佐藤製薬株式会社	H29. 10. 1 ～R 4. 9. 30	形成・再建外科学 教授 水野 博司
認知症診断・予防・治療学講座	エーザイ株式会社 日本メジフィジックス株式会社	H30. 1. 1 ～R 5. 12. 31	神経学 教授 服部 信孝
抗加齢皮膚医学研究講座	株式会社ファンケル総合研究所 キリンホールディングス株式会社 (R3. 6. 1～)	H30. 6. 1 ～R 5. 5. 31	環境医学研究所 特任教授 高森 建二
データサイエンス推進講座	株式会社 4 DIN	H30. 12. 1 ～R 6. 11. 30	放射線診断学 教授 桑鶴 良平
神経変性・認知症疾患共同研究講座	キリンホールディングス株式会社 (～R3. 11. 30) グローリー株式会社 日本生命保険相互会社 (～R3. 11. 30) 三菱 UFJ 信託銀行株式会社	H30. 12. 1 ～R 4. 12. 31	神経学 教授 服部 信孝
オルガノイド開発研究講座	エーザイ株式会社	H31. 4. 1 ～R 7. 3. 31	神経学 教授 服部 信孝
循環器遠隔管理学講座	パラマウントベッド株式会社	R 1. 5. 1 ～R 5. 4. 30	循環器内科学 教授 南野 徹
超高精細画像医療応用講座	(非公開)	R1. 6. 1 ～R 4. 5. 31	特任教授 佐藤 信紘
ICT 制御に基づく在宅医療開発講座	株式会社サンウェルズ	R 1. 10. 1 ～R 7. 9. 30	神経学 教授 服部 信孝
デジタルヘルス・遠隔医療研究開発講座	株式会社フィリップス・ジャパン 東邦ホールディングス株式会社 旭化成株式会社 インターリハ株式会社	R 1. 11. 1 ～R 4. 10. 31	保健医療学部 学部長 代田 浩之
腸内細菌療法研究講座	キリンホールディングス株式会社	R 1. 12. 1 ～R 4. 11. 30	消化器内科学 教授 永原 章仁
先端予防医学・健康情報学講座	株式会社クレディセゾン	R 2. 1. 1 ～R 8. 3. 31	総合診療科学 教授 内藤 俊夫
集団感染予防学講座	大幸薬品株式会社	R 2. 1. 1 ～R 4. 12. 31	小児思春期発達・病態学 教授 清水 俊明

講座名	共同研究者	設置期間	責任者等
パーキンソン病治療薬開発講座	大原薬品工業株式会社 株式会社 PARKINSON Laboratories	R 2. 4. 1 ～R 8. 3. 31	神経学 教授 服部 信孝
デジタル医療講座	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ビジョンケアカンパニー	R 2. 5. 1 ～R 5. 4. 30	眼科学 教授 村上 晶
脳機能代謝研究講座	テルモ株式会社 株式会社フィリップス・ジャパン アンファー株式会社 株式会社メディカライン 日本メドトロニック株式会社 日本ストライカー株式会社 Integra Japan 株式会社 (1社非公開)	R 2. 5. 1 ～R 5. 4. 30	脳神経外科学 教授 近藤 聡英
リアルワールドエビデンス評価研究講座	株式会社新日本科学	R 2. 6. 1 ～R 5. 5. 31	放射線診断学 教授 桑鶴 良平
気分障害分子病態学講座	住友ファーマ株式会社	R 2.10. 1 ～R 5. 9. 30	精神医学 教授 加藤 忠史
アフェレンス治療技術と生命科学講座	旭化成メディカル株式会社	R 2.10. 1 ～R 5. 9. 30	膠原病・リウマチ内科学 教授 山路 健
スポーツ医学・再生医療講座	セルソース株式会社	R 2.11. 1 ～R 5.10. 31	整形外科・運動器医学 教授 石島 旨章
健康寿命学講座	株式会社カーブスジャパン	R 2.11. 1 ～R 5.10. 31	スポーツロジセンター 特任教授 河盛 隆造
マルチスケール脳構造イメージング講座	株式会社ニコンソリューションズ	R 2.11. 1 ～R 5.10. 31	医学研究科 研究科長 服部 信孝
高齢者身体運動機能研究開発講座	株式会社ハーフ・センチュリー・モア	R 2.12. 1 ～R 5.11. 30	病院管理学 教授 小林 弘幸
パーキンソン病臨床データ解析研究講座	小野薬品工業株式会社	R 3. 1. 1 ～R 5.12. 31	神経学 教授 服部 信孝
骨髄増殖性腫瘍治療薬開発講座	Meiji Seika ファルマ株式会社	R 3. 2. 1 ～R 6. 1. 31	血液学 特任教授 小松 則夫
免疫病・がん先端治療学講座	ワイズ・エー・シー株式会社	R 3. 4. 1 ～R 6. 3. 31	免疫学 特任教授 奥村 康
先進老化制御学講座	株式会社ブルボン	R 3. 4. 1 ～R 6. 3. 31	循環器内科学 教授 南野 徹
プロバイオティクス研究講座	株式会社ヤクルト本社	R 3. 4. 1 ～R 5. 3. 31	医学研究科 特任教授 山城雄一郎
シヌクレイノパチー創薬探索研究講座	協和キリン株式会社	R 3. 4. 1 ～R 6. 3. 31	神経学 教授 服部 信孝
神経疾患における PRO に基づく統合データ解析講座	武田薬品工業株式会社	R 3. 4. 1 ～R 6. 3. 31	神経学 教授 服部 信孝

講座名	共同研究者	設置期間	責任者等
免疫診断学	日本抗体医薬株式会社	R 3. 4. 1 ～R 6. 3. 31	免疫学 特任教授 奥村 康
運動器疾患病態学講座	サントリーウェルネス株式会社 日本ストライカー株式会社 株式会社日本エム・ディ・エム 久光製薬株式会社 オリンパステルモバイオマテリアル株式会社 株式会社マティス セルソース株式会社	R 3. 4. 1 ～R 6. 3. 31	整形外科・運動器医学 教授 石島 旨章
Pandemic Ready 共同研究講座	清水建設株式会社	R 3. 5. 1 ～R 6. 4. 30	感染制御科学 教授 堀 賢
救急 AI 色画像情報標準化講座	凸版印刷株式会社	R 3. 6. 1 ～R 6. 5. 31	救急・災害医学 (浦安病院) 教授 田中 裕
低侵襲テロメスキャン次世代がん診断学講座	オンコリスバイオフィーマ株式会社	R 3. 6. 1 ～R 6. 5. 31	呼吸器内科学 教授 高橋 和久
デジタル指標運動機能研究講座	田辺三菱製薬株式会社	R 3. 8. 1 ～R 6. 7. 31	神経学 教授 服部 信孝
ダイレクトリプログラミング再生医療学講座	アステラス製薬株式会社	R 3.10. 1 ～R 6. 9. 30	難治性疾患診断・治療学 教授 岡崎 康司
デジタルセラピューティクス講座	株式会社ライフクエスト	R 3.10. 1 ～R 6. 9. 30	泌尿器外科学 教授 堀江 重郎
MALDI-TOFMS 実用化研究講座	株式会社島津製作所	R 4. 1. 1 ～R 6.12. 31	臨床病理検査医学 教授 田部 陽子
次世代病院 IoT ネットワーク共同研究講座	アライドテレシスホールディングス株式会社	R 4. 3. 1 ～R 7. 2. 28	医学研究科 研究科長 服部 信孝
細菌叢再生学講座	メタジェンセラピューティクス株式会社	R 4. 4. 1 ～R 7. 3. 31	消化器内科学 教授 永原 章仁
メディカル・メタバース共同研究講座	日本アイ・ビー・エム株式会社	R 4. 4. 1 ～R 7. 3. 31	医学研究科 研究科長 服部 信孝
次世代型ビューティ&ウェルネス医療研究講座	株式会社ミス・パリ	R 4. 4. 1 ～R 5. 3. 31	神経学 教授 服部 信孝
唾液 1ml を用いた認知症バイオマーカー開発講座	(非公開)	R 4. 6. 1 ～R 7. 5. 31	難治性疾患診断・治療学 教授 赤澤 智宏
生殖技術フロンティア講座	株式会社新日本科学	R 4. 7. 1 ～R 7. 6. 30	産婦人科学 教授 板倉 敦夫
食と生殖機能先端研究講座	株式会社パートナーズ	R 4. 7. 1 ～R 7. 6. 30	産婦人科学 教授 板倉 敦夫
遠隔医療・モバイルヘルス研究開発講座	株式会社関電工	R 5. 3. 1 ～R 8. 2. 28	AIインキュベーションファーム センター長 服部 信孝

(3) 産学協同研究講座

講座名	産学協同研究者	参画形態	設置期間	責任者等
バイオリソースバンク活用研究支援講座	アボットジャパン合同会社 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 三井不動産株式会社	共同研究 寄付 寄付	R 3. 10. 1 ～R 6. 9. 30	呼吸器内科学 教授 高橋 和久
パーキンソン病病態解明研究講座	大塚製薬株式会社 山岸広太郎 セブラホールディングス株式会社	寄付 寄付 共同研究	R4. 4. 1 ～R 7. 3. 31	神経学 教授 服部 信孝
デジタルヘルス・遠隔医療研究開発講座	インターリハ株式会社 京セラ株式会社 フクダ電子株式会社 AMI 株式会社 株式会社フィリップス・ジャパン	共同研究 共同研究 共同研究 共同研究 寄付	R 5. 1. 1 ～R 5. 12. 31	保健医療学部 学部長 代田 浩之

11. 授業料等学生が納付する金額

(単位：円)

大学院・学部		入学金※1	授業料	施設設備費	実験実習費	教育充実費	初年度合計	
大学院	医学研究科	博士課程	200,000	400,000	-	150,000	-	750,000
		修士課程	200,000	400,000※2	150,000	-	-	750,000
	スポーツ健康科学研究科	200,000	550,000	-	50,000	-	800,000	
	医療看護学研究科	200,000	550,000	-	50,000	-	800,000	
学部	医学部	1年次	2,000,000	700,000	200,000	-	-	2,900,000
		2年次以降	-	2,000,000	860,000	-	720,000	3,580,000
	スポーツ健康科学部	200,000	700,000	300,000	-	150,000	1,350,000	
	医療看護学部	300,000	900,000	300,000	350,000※3	-	1,850,000	
	保健看護学部	300,000	900,000	300,000	140,000※4	-	1,640,000	
	国際教養学部	300,000	1,000,000	-	-	250,000	1,550,000	
	保健医療学部	300,000	1,000,000	300,000	150,000※5	-	1,750,000	
	医療科学部	300,000	1,000,000	300,000	150,000※5	-	1,750,000	

※1 入学時のみ

※2 データサイエンスコースは1,050,000円

※3 4年次に助産学に関する実習を受講する場合には、実習費として別途350,000円を加算

※4 2年次以降は420,000円、

※5 2年次以降は480,000円

12. 学位記授与数

※学位記授与数にて甲は課程修了者、乙は学位論文提出者

大学院医学研究科

(単位:名)

区 分	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (博士)	140	140	140	160	
” 入学者数 (”)	140	160	178	179	
博士 (医学) 甲 学位記授与数	128	155	158	155	《2,732》
満期退学後学位取得者数	0	0	0	0	
博士 (医学) 乙 学位記授与数	23	18	28	20	《2,534》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	20	30	40	60	
” 入学者数 (”)	38	41	64	77	
修士 (医科学) 学位記授与数	35	40	61	78	《345》

大学院スポーツ健康科学研究科

(単位:名)

区 分	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (博士)	10	10	10	10	
” 入学者数 (”)	10	11	21	18	
博士 (スポーツ健康科学) 甲 学位記授与数	3	8	14	14	《115》
満期退学後学位取得者数	0	0	0	0	
博士 (スポーツ健康科学) 乙 学位記授与数	1	1	1	0	《25》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	61	61	61	61	
” 入学者数 (”)	61	56	62	63	
修士 (スポーツ健康科学) 学位記授与数	59	51	62	60	《1,322》

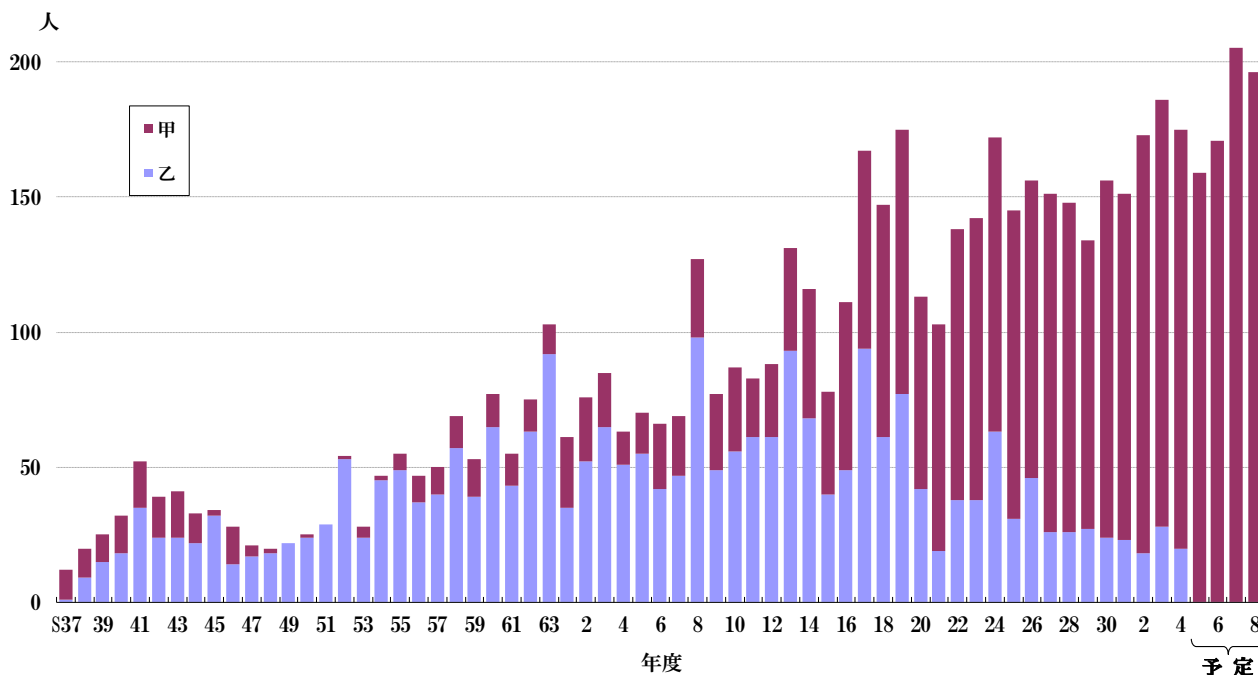
大学院医療看護学研究科

(単位:名)

区 分	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (博士)	7	7	10	10	
” 入学者数 (”)	6	10	11	10	
博士 (看護学) 甲 学位記授与数	5	7	11	7	《50》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	15	20	25	25	
” 入学者数 (”)	22	26	24	27	
修士 (看護学) 学位記授与数	20	25	21	29	《278》

順天堂大学大学院医学研究科 学位授与者数推移

博士(医学) 甲 2,732号 乙 2,534号 (計:5,266号)



◎ 令和元年~4年度学位取得者

甲論文(英文98.6%) 平均IF ≒ 3.880

乙論文(英文98.9%) 平均IF ≒ 3.032

13. 学部卒業生数

(単位:名、括弧内()は女子学生数)

学部・学科名称	取得学位(学士)	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	備考《累計》
医学部 医学科	医学	126 (39)	130 (37)	134 (41)	135 (43)	医専卒 《319》 医科大卒 《89》 学部卒 《5,648》 累計《6,056》
スポーツ健康科学部		319 (103)	404 (158)	401 (158)	399 (153)	体育学部卒 《5,207》 スポーツ健康科学部卒 《8,792》 累計《13,999》
スポーツ科学科	スポーツ科学	183 (54)	247 (98)	243 (89)	243 (85)	
スポーツマネジメント学科	スポーツマネジメント学	68 (24)	79 (30)	79 (30)	77 (27)	
健康学科	健康学	68 (25)	78 (30)	79 (39)	79 (41)	
医療看護学部 看護学科	看護学	203 (198)	202 (191)	196 (192)	194 (192)	講習所 《1,182》 看護学院 《29》 准看護婦学院 《132》 高等看護学校 《775》 看護専門学校 《1,194》 医療短期大学 《1,476》 医療看護学部 《2,979》 累計《7,767》
保健看護学部 看護学科	看護学	119 (108)	121 (113)	118 (113)	124 (118)	累計 《1,196》
国際教養学部 国際教養学科	国際教養学	114 (76)	117 (78)	111 (61)	221 (150)	累計 《668》
保健医療学部		—	—	—	231 (128)	累計 《231》
理学療法学科	理学療法学	—	—	—	116 (68)	累計 《116》
診療放射線学科	放射線技術学	—	—	—	115 (60)	累計 《115》

14. 卒業後の進路状況

※修了者には博士課程単位取得満期退学者を含む

大学院・学部		進路	人数	修了者数・卒業者数	
大学院	医学研究科	博士課程	大学・研究機関	106名	155名
			医療機関	24名	
			民間企業	15名	
			その他	10名	
		修士課程	大学・研究機関	18名	78名
			医療機関	2名	
	民間企業		19名		
	進学		29名		
	スポーツ健康科学研究科	博士後期課程	教員・研究機関	10名	18名
			就職（民間企業・公務員等）	5名	
			その他	3名	
		博士前期課程	教員・研究機関	17名	60名
就職（民間企業・公務員等）			29名		
進学			10名		
医療看護学研究科	博士後期課程	大学病院等医療機関・保健医療機関	1名	7名	
		教員・研究機関	6名		
		その他	0名		
	博士前期課程	大学病院等医療機関・保健医療機関	17名	29名	
		教員・研究機関	9名		
		進学	0名		
学部	医学部	初期臨床研修医（本学医学部附属病院）	70名	135名	
		〃（他大学医学部附属病院）	7名		
		〃（大学病院以外の臨床研修指定病院）	58名		
		その他	0名		
	スポーツ健康科学部	教員・研究機関	69名	399名	
		就職（民間企業・公務員等）	271名		
		進学	42名		
		その他	17名		
	医療看護学部	本学医学部附属病院	178名	194名	
		本学以外の医療機関	12名		
		進学	4名		
		その他	0名		
	保健看護学部	本学医学部附属病院	103名	124名	
		本学以外の医療機関	14名		
		進学	1名		
		その他	6名		
	国際教養学部	教員・研究機関	0名	221名	
		就職（民間企業・公務員等）	169名		
		進学	21名		
		その他	31名		
	保健医療学部 理学療法学科	本学医学部附属病院	14名	116名	
本学以外の医療機関		83名			
就職（民間企業）		3名			
進学		15名			
その他		1名			
保健医療学部 診療放射線学科	本学医学部附属病院	15名	115名		
	本学以外の医療機関	72名			
	就職（民間企業）	2名			
	進学	11名			
	その他	15名			

15. 教育研究活動の主な概要

【法人・大学】

浦安・日の出キャンパスの開設

令和4年4月に千葉県浦安市日の出地区の校地に、浦安・日の出キャンパスを開設しました。本キャンパスは、主に医療科学部が使用する他、医療看護学部、国際教養学部、保健医療学部の一部の授業を開講します。また体育館やグラウンドは他キャンパスに所属する学生も、部活動やサークル活動で利用することができます。

健康データサイエンス学部の設置認可

令和4年8月に本学8番目の学部となる健康データサイエンス学部（入学定員100名）の設置が認可されました。本学部は令和5年4月に浦安・日の出キャンパスに開設します。健康×データサイエンスのスペシャリストとして、データ社会に貢献する人材を養成します。

薬学部設置認可申請

臨床実践能力の高い薬剤師や臨床に根ざした創薬を考えることができる薬学研究者の養成を目指し、令和5年3月に本学9番目の学部となる薬学部（6年制、入学定員180名）の設置認可申請書を文部科学省に提出しました。本学部は令和6年4月に浦安・日の出キャンパスに開設する予定です。

ウクライナからの学生・医師・研究者支援

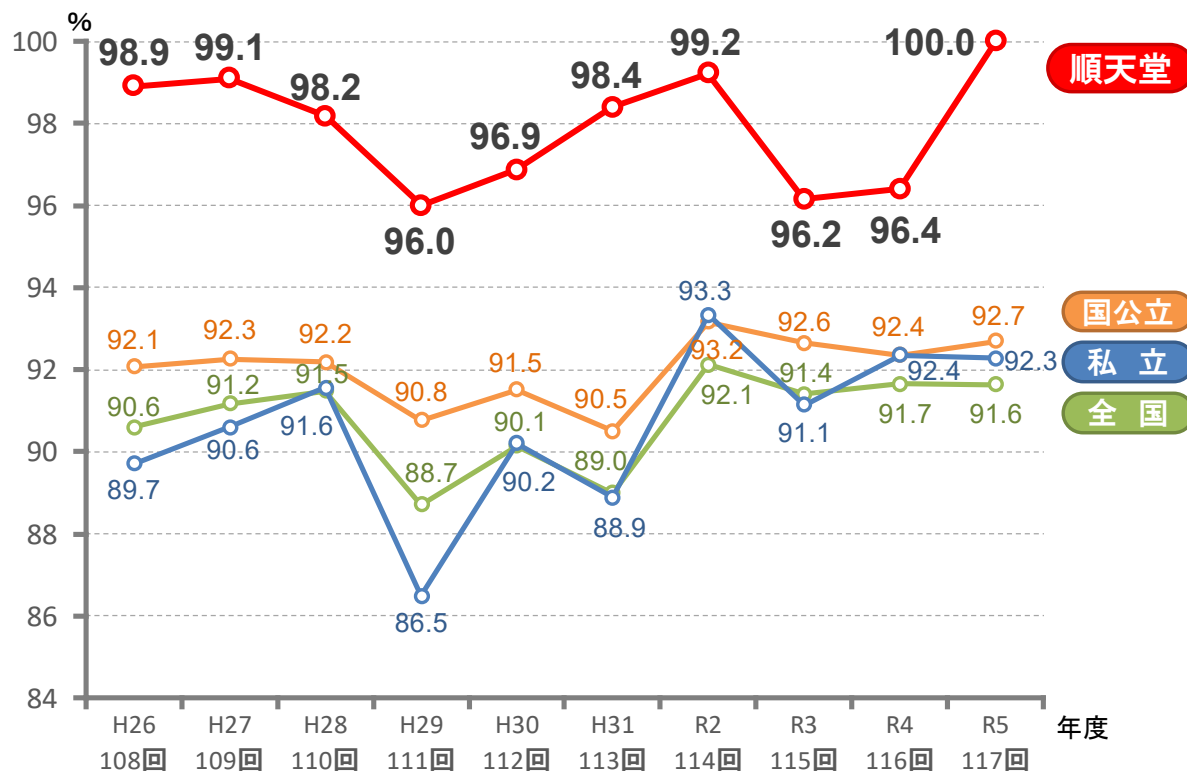
ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の影響により、教育や研究を継続することができなくなったウクライナの学生、医師、研究者（合計18名）を令和4年6月から受け入れ、渡日・帰国費用、居住施設、生活費等の支援を実施しました。8月18日には国際シンポジウム「FIGHT FOR LIFE, HEALTH AND FUTURE: UKRAINIAN HEALTHCARE SYSTEM IN RUSSIAN-UKRAINIAN WAR」をオンラインで開催しました。本シンポジウムは、ウクライナの状況や戦時下における医療体制、医学教育等についての情報や知見を共有したいという彼らの強い思いから実現したものです。日本、ウクライナだけでなく、米国、英国、ドイツ、中国、ポーランド等世界各国からおよそ500名が参加し、多くの報道機関でとり上げられる等、大きな反響がありました。



【大学院医学研究科・医学部】

【医師国家試験合格率推移】

今年度の第117回医師国家試験では新卒者及び既卒者の全員が合格し、合格率100%を達成しました。合格率は全国国公立大学81校中1位、直近5年間・10年間の平均合格率は全国2位でした。



【医学研究科修士課程 International Medical Sciences Degree Program の開講】

大学院医学研究科修士課程では、修士（医科学）の学位が授与される従来の3つの学位プログラム（展開医科学、臨床遺伝学（遺伝カウンセリング）、データサイエンス）に加え、International Medical Sciences を新たに開講しました。

International Medical Sciences は外国人留学生を対象とした秋入学（10月入学）専用の学位プログラムです。医学・医療における基礎知識と技能を修得し、医科学分野における国際的な課題に対応すべく、問題解決能力を主体的に高め、優れた言語運用能力を活かして、自らの研究成果を世界に向けて発信し、国際社会に貢献できる人材を養成します。

【大学院スポーツ健康科学研究科・スポーツ健康科学部】

【教員採用試験・就職率】

教員採用試験は、現役生・既卒生合わせ、123名（公立補欠合格・私学専任合格含む）が合格しました。うち現役生の合格者数は47名でした。企業就職志望者247名の就職内定率は99.1%と、コロナ禍の厳しい環境にありながら、引き続き高水準を維持しました。

【国際交流活動の活性化】

スポーツ健康科学部・大学院スポーツ健康科学研究科では、学術交流協定を締結している北京体育大学（中国）、カセサート大学（タイ）とZoomによるオンライン学術交流を実施し

ました。海外派遣事業として、カセサート大学（タイ）との交流プログラムに 12 名の学生（学部 9 名大学院生 3 名）、教職員 2 名が参加しました。

【大学院医療看護学研究科・医療看護学部・保健看護学部】

看護師・保健師・助産師国家試験合格率

医療看護学部は看護師国家試験合格率が 100%、過去 5 年間平均でも 99.1%と高水準を維持するとともに、助産師国家試験は合格率 100%を継続しています。保健看護学部も前年と同じく看護師国家試験合格率 100%となり、両学部ともに高水準を維持しています。

	看護師	保健師	助産師
医療看護学部	100%	98.5%	100%
保健看護学部	100%	96.7%	—
全国平均（参考）	90.8%	93.7%	95.6%

保健看護学部定員増計画

令和 6 年 4 月から保健看護学部入学定員を 130 名から 160 名に 30 名増加予定であり、令和 5 年 3 月に文部科学省へ収容定員変更認可申請書を提出しました。

専門看護師認定実績

大学院医療看護学研究科（博士前期課程）修了生 8 名が令和 4 年度専門看護師（CNS：Certified Nurse Specialist）認定試験に合格しました（慢性疾患看護分野 3 名、がん看護分野 2 名、感染症看護分野 1 名、在宅看護分野 1 名、急性・重症患者看護分野 1 名）。これまでの CNS 合格者数は、慢性疾患看護分野 26 名、がん看護分野 15 名、精神看護分野 7 名、老人看護分野 5 名、小児看護分野 4 名、感染症看護分野 9 名、母性看護分野 2 名、在宅看護分野 6 名、急性・重症患者看護分野 1 名の合計 75 名です。

グローバルナーシングコース開設

大学院医療看護学研究科では、本学初の秋入学制度を開始しました。JICA（国際協力機構）と連携して国際的に活躍できる看護の専門家を育成するという日本初の試みで、留学生向けの英語による学位取得コースです。博士前期課程 Global Nursing Course（定員 4 名）、後期課程 Global Nursing Leadership Course（定員 2 名）に各 2 名ずつ合計 4 名が入学しました。

【国際教養学部】

海外留学・研修、英語集中学習プログラム、海外との交流

コロナ禍で中止していた、海外現地留学・研修を再開し、多くの学生が参加しました。令和 4 年度に留学、研修開始した学生は次の通りです。

期間	人数	内訳
長期(1年未満)	17名	アメリカ12、カナダ4、タイ1
長期(セメスター)	5名	イギリス2、アメリカ2、台湾1
中期(3ヶ月未満)	5名	シンガポール1、カナダ2、アイルランド1、スペイン1
短期(1ヶ月未満)	80名	フィリピン46、アメリカ1、オーストラリア1、カナダ1、フランス31
短期(2週間未満)	1名	アメリカ1

中国河南師範大学から7名の交換留学生を1年間(令和4.10.1～令和5.9.30)、特別聴講生として受け入れ、課程内外で本学部生との有意義な交流が続いています。

「UNHCR WILL2LIVE Chinema パートナーズ」上映会

国連機関の一つである UNHCR (国連難民高等弁務官事務所) は難民を国際的に保護・支援し、難民問題の解決に向けた取り組みを行っており、本学は大学パートナーズとして「難民」という人たちをスクリーンの「向こう側」ではなく、自分と同じ世界に生きる人として考える機会となることを願って、毎年、授業の中で難民映画を上映し、これを「公開講座」として学外の方々にも参加頂いています。令和4年度は『日本人の忘れもの：フィリピンと中国の残留邦人』の上映会を3年振りに対面で開催しました。上映前に、難民問題についての出張授業を実施している学生団体 SOAR (ソア: Students' Organization Assembled for Refugees) で活動している本学部の学生と英語科教員によるミニ・トークセッションを行いました。

企業就職率・教員採用試験・大学院進学

令和4年度4年生(第5期生)の企業・公務員・教員就職志望者172名の就職内定率は98.3%となり、第1期生からの5年間平均内定率は97.7%と高い水準を維持しました。特に第5期生は定員120名⇒240名へ倍増した最初の学年でしたが、学生自身の努力と就職支援室スタッフをはじめとする学部全教員の指導により、この結果を残すことができました。教員志望者のうち4名が公立学校採用試験に合格し、公立臨時的任用、私立学校を含め6名が英語教員として就職しました。進学希望者22名のうち国内外の進学者は、本学大学院医学研究科(16名)を含め21名となりました。

国際教養学研究科(仮称)の設置認可申請

令和5年3月、国際教養学部を基礎とする国際教養学研究科修士課程(入学定員5名)の文部科学省への設置認可申請を行いました。本研究科は令和6年4月開設の予定で、学士課程で培われた教養教育に裏打ちされた専門的素養を一層向上させ、グローバル化された社会が抱える課題解決に必要な分野横断・学際的な知識・教養である国際教養学を教授し、知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材を養成します。

【保健医療学部】

理学療法士・診療放射線技師国家試験合格率

保健医療学部は学部開設4年目を迎え、本学部1期生が国家試験を受験しました。理学療法士国家試験、診療放射線技師国家試験ともに高い合格率を記録しました。

	受験者	合格者	合格率
理学療法士国家試験	116名	116名	100.0%
診療放射線技師国家試験	114名	112名	98.2%

第1種放射線取扱主任者試験合格実績

第1種放射線取扱主任者試験に診療放射線学科の4年生5名、3年生12名、2年生5名が合格しました。前年度までに同試験に合格した本学部の学生が、スチューデントアシスタントとして、受験予定学生に勉強ノウハウを共有する取り組みを行っています。

大学院保健医療学研究科設置認可

令和4年8月、保健医療学部を基礎とする大学院保健医療学研究科修士課程（理学療法学専攻・診療放射線学専攻）の設置が認可されました。国内外を問わず多様な場で社会貢献できる高度な実践能力をもち、理学療法学、診療放射線学のあり方を探求することのできる人材を養成します。

【医療科学部】

C02C02（コツコツ）スマート宣言事業所に登録

浦安・日の出キャンパスが『C02C02 スマート宣言事業所』に登録されました（登録番号 S-460-1）。浦安・日の出キャンパスでは、教職員・学生一人一人が 4R（Reduce 減らす・Reuse 再利用・Recycle 再生利用・Replace 代える）に対する高い意識を持ち、積極的に「エコ」への取り組みを推進し、循環型エコキャンパス・ホスピタルの実現をさらに加速させていきます。

浦安・日の出キャンパス地域公開講座

浦安・日の出キャンパスが取り組む教育と研究の活動について、地域及び地域住民の皆様からご理解いただくことを目的とし、開設初年度から、地域公開講座を積極的に行っています。令和4（2022）年度は、医療及びデータサイエンス領域を軸に8回の講座を開催し、来場者の多くから満足する感想とともに、今後の講座を期待する声も多く寄せられました。

16. 臨床活動の主な概要

○新型コロナウイルス感染症への対応

【順天堂医院】

令和2年度から、患者の出入口は1号館正面玄関一か所に絞り、サーマルカメラを設置し発熱者のトリアージを実施しています。基本的に一般患者は1号館、COVID陽性及び疑い患者はB棟と建物毎に動線と滞在エリアの完全分離を図り、さらに必要箇所には空気清浄機を導入するなど院内環境の整備に努めています。また予定入院患者について入院前PCR検査の全件実施、緊急入院等迅速に対応を要する患者には、POCT検査を実施する等院内感染防止に細心の注意を払っています。

新型コロナウイルス感染症の発生当初よりB棟地上階に「発熱外来」を設置し、文京保健所からの要請に基づき文京区PCRセンターを併設して運営しています。令和3年度には、文京区のワクチン接種事業に協力し、延べ25,000人（文京区民の7.6%）へのワクチン接種を実施し、その功績に対して、令和5年1月に文京区長より感謝状をいただきました。職員には令和4年8月に4回目の接種を行い、11月には、オミクロン株対応のワクチン接種を行いました。

また東京都の要請に応じて新型コロナウイルス感染症入院重点医療機関として重症患者用14床、中等症患者用30床、計44床をCOVID専用病床として運用する等地域の保健行政に協力貢献しています。

その他、院内の密の回避や利便性の向上を図るため、引き続き、「オンライン診療」「あと払いクレジットサービス」と「薬剤配送サービス」の連動、「ウォークスルー検査」等を推進しています。特にあと払いクレジットサービスは利用率30%以上を達成し、窓口の混雑緩和に大きく貢献しています。入院診療においては、面会制限の不満を少しでも緩和するためにiPadを利用しての面会を導入し、患者の不安や精神的ストレス緩和につながっています。また、メディカル・メタバース共同研究講座で開発されたバーチャルホスピタルにより、来院しなくてもHP内でアバターを操作して院内の施設・環境を知ることが出来、事前に病院の状況を知ることが出来ます。今後、面会等においてもバーチャルホスピタルを活用していく予定です。

【静岡病院】

令和3年度に引き続き、予定入院患者、緊急入院患者、術前患者について全件PCR検査を実施しています。また、発熱外来では、ドライブスルー方式で検体が採取できるような仕組みを取り入れ、感染防止に努めました。

入院においては、新型コロナウイルス確保病床として、12床を運用していましたが、感染拡大により、令和4年8月には最大42床を確保病床として運用し、地域医療へ貢献しました。COVID患者増減の波がありましたが、令和5年3月には減少傾向となり、2C病棟10床、救命救急センターICU・CCU2床の計12床をCOVID専用病床として運用しています。

外来においては、オンライン診療・LINE順番通知システムを運用し、外来患者の密の緩和を行っています。LINE順番通知システムでは、運用開始後、登録者数が18,000件を超えました。

新型コロナウイルスワクチン基本型接種施設として、当院の医療従事者をはじめ、保健看護学部学生及び一般市民に対し4回目、5回目のワクチン接種を行いました。令和4年3月14日から開始した小児（5～11歳）を対象とした初回接種（1・2回目）及び追加接種（3・4回目）

を継続し、令和4年11月7日からは、乳幼児（生後6ヶ月～4歳）を対象とした初回接種（1～3回目）の接種を開始しました。これまでに延べ約50,000回の接種を行いました。

【浦安病院】

千葉県重点医療機関として発熱外来・発熱相談体制を継続するとともに、7C病棟（個室27床）、ICU病棟（最大12床）を専用病床として運用し、新型コロナウイルス感染患者の受け入れに協力しました。一般患者に対しては出入口を正面玄関のみに制限し、検温・手指消毒を実施のうえ、発熱患者との動線区分けを継続しています。また感染予防対策として来院を控えている患者に対しては、電話処方対応を行いました。

新型コロナウイルスワクチンに関しては、浦安市と連携を行い、一般市民を対象とした集団接種会場への問診医師派遣を行いました。

令和4年5月まで、千葉県より新型コロナウイルス感染者宿泊療養施設における患者の健康観察業務を受託し、日中・夜間ともに医師によるオンコール相談を実施しました。また前年度より継続して、千葉県より新型コロナウイルス感染症妊婦モニタリング等業務を受託し、かかりつけ医と連携のもと、分娩監視装置で自宅療養中の妊婦をモニタリングすることにより、非常時にいち早く状況を把握し、適切な入院調整を行えるよう体制整備しました。

院内スタッフの感染対策については、浦安病院独自のリバイバルプラン（STEP1～3）を策定し、千葉県及び周辺地域の感染拡大状況に応じて都度STEPを設定し、スタッフの感染拡大防止に努めています。特にクラスター予防対策として、医局・休憩室・職員食堂等においてのマスクを外しての会話を厳重に注意喚起することや、全スタッフ（委託職員を含む）を対象としたユニバーサルN95・KN95マスクを義務付けることを徹底しています。

【順天堂越谷病院】

新型コロナウイルス感染症対策のため、来院者には出入口を正面玄関のみに制限し、毎朝受付開始時よりサーマルカメラを設置して入館前の検温、トリアージを継続し、トリアージにより通常外来で受診困難となった場合に、発熱者専用の臨時診察室を設置し運用してきました。

外来においては、対面診察の他、電話再診、オンライン診療を実施し、これらと併せ、会計待ち時間短縮に向けて、「あと払いサービス」の導入を開始しました。

入院患者には、スクリーニング検査の実施、面会制限、外泊制限を継続しています。

埼玉県や越谷市等からの発熱者PCR検査の医師、看護師等派遣要請及び宿泊・自宅療養者に対する健康観察業務にも協力して、行政や医師会との連携強化を図ってきました。

また医療従事者及び一般市民への新型コロナウイルスワクチン接種では、週3～4日当院で個別住民接種を実施すると共に、越谷市の集団接種会場へ医師・看護師等を派遣して来ました。

新型コロナウイルス感染症感染後の対応として、コロナ後遺症外来を実施しています。

【順天堂東京江東高齢者医療センター】

東京都からのコロナ病床確保の協力要請に対して、第8波時に閉鎖病棟である5B病棟をコロナ病棟に変更し、感染管理体制を強化した上で、対象病床を18床から24床に増床しました。特に受け入れ要請が多かった高齢者、認知症患者のコロナ陽性患者を積極的に受け入れました。

その他病棟の面会は一時緩和しましたが、原則禁止を継続しており、状況に応じてタブレットによる面会を実施しています。外来診療については、薬だけの患者は電話問診を推奨しています。外来でのPCR検査はかかりつけ患者に対して実施しています。また予定入院患者は、入院前PCR検査を全件実施しています。

新型コロナウイルスワクチン接種施設として、医療従事者、近隣の高齢者施設の従事者、江東区民への接種を実施しました。

【順天堂練馬病院】

令和4年7月以降の第7波感染（オミクロン株 BA.5）拡大時には、最大49床の専用病床を確保し、東京都重点医療機関として小児や妊婦を含む多くの新型コロナウイルス感染症患者を受け入れました。また、診療・検査医療機関として発熱外来を引き続き行うとともに、時間外に救急外来を受診される方や搬送されてくる重症患者にも対応し、保健所の要請、地域住民の要望に応えることができました。

院内における感染防止対策として、新入院患者に対してPCR検査やIDNOWなどのPOCT検査を全件実施、感染の入口を制御するとともにBCP対策として従事者全員が抗原検査キットによる検査を毎週実施し、病院の職務に支障が出ることのないよう体調管理を徹底しました。

また、ワクチン接種は計2,655人（練馬区民1,264人、職員1,391人）に接種を行いました。基礎疾患等の不安から大学病院での接種を希望する患者は多く、区民のワクチン接種率の向上に大きく貢献しました。

○その他の臨床活動の概要

【順天堂医院】

新電子カルテシステムの移行

令和5年1月に、電子カルテシステムをこれまでの富士通のシステムからIBMのシステムに移行しました。新電子カルテシステムの移行にあたり、病院全体でのリハーサルを実施し、医師・看護師・メディカルスタッフ他、操作訓練を実施しました。日々ブラッシュアップを図り、より良い電子カルテシステム運用に取り組んでいます。

これに伴い、あと払いクレジットサービス（あとクレ）の利用率も向上しました。

今後も更なる機能向上を行い、より機能的なネットワークシステムを構築出来るよう取り組みます。

自衛消防力診断審査金賞受賞

令和4年10月13日に本郷消防署員が来院し「自衛消防力診断審査」が行われました。当院チームとして、リハビリテーション室、看護部、放射線部から選手を選出し参加しました。この審査は、各参加事業所に消防署員が出向き火災発生時の自衛消防能力のレベルを評価するものです。当院チームは、訓練時以上のパフォーマンスを本番で発揮し、見事「金賞」を受賞し、消防署から高い評価を頂きました。

シンガポールヘルスサービスによる当院来訪

令和5年2月15日にシンガポールヘルスサービス代表団23名の来訪がありました。シンガポールヘルスサービス（SingHealth）は、シンガポール保健省（MOH）が2030年の開院を

目指す 1,000 床規模の急性期総合病院と地域病院の運営会社として指名されています。

この度の来訪では、新しい急性期病院開院にあたっての総合的な質問等がありました。

代表団には、シンガポール総合病院（シンガポール最古の病院、SingHealth の旗艦病院）の代表者、イノベーションとデジタル化に携わる他の SingHealth スタッフ、シンガポール保健省（MOH）と保健省ホールディングス（MOHH）の代表者らが参加しました。

病院機能評価モックサーベイ

令和 5 年 9 月頃に病院機能評価の受審を控えています。これに伴い、令和 4 年 12 月に病院機能評価モックサーベイを実施しました。病院機能評価一般病院 3 3rdG は Ver3 となっており、前回受審時より内容が変更しています。サーベイヤの先生方のアドバイスを受けて、より良い病院運営に向けて向上を図ります。

【静岡病院】

増改築工事推進状況

地域医療連携推進法人制度を用いて、令和 4 年 3 月に静岡県から 56 床の増床が認められ、令和 4 年 5 月 1 日より 577 床から 603 床に増床し運用を開始しました。5B 病棟と 9A 病棟の改修工事、旧 3C 病棟を整備することにより、増床対応病床を確保し、令和 5 年度中に 633 床までの増床を予定しています。

TAVI（経カテーテル弁置換術）治療開始

令和 3 年 11 月よりハイブリット手術室の本格稼働に伴い、令和 4 年 3 月 22 日に TAVI（経カテーテル弁置換術）の実施施設に認定されました。TAVI は、重症大動脈弁狭窄症に対する新しい治療方で、カテーテルを使用して心臓に人工弁を留置します。患者の体への負担が少なく、入院期間が短いのが特徴です。令和 4 年 4 月開始から令和 5 年 3 月までで、58 件の TAVI（経カテーテル弁置換術）を実施しました。

選定療養費の変更

令和 4 年度の診療報酬改定による定額負担の見直しに伴い、令和 4 年 10 月より、初診時選定療養費を 5,500 円（税込）から 7,700 円（税込）に、再診時選定療養費を 2,500 円（税込）から 3,300 円（税込）に見直しを行いました。

総合再診外来

令和 4 年 7 月より、総合再診外来を開設し、病状が安定しており、内服薬による継続的な治療が必要な患者を対象に、主治医・担当医の決定により 1 箇所を集約し診察を行っています。待ち時間の短縮により多くの患者に好評を頂いています。

地域医療連携推進法人の参加病院拡大

静岡病院では、地域包括ケアの実現による地域医療構想実現を目的に、地域の病院で「地域医療連携推進法人 静岡県東部メディカルネットワーク」を立ち上げました。令和 4 年度は、伊豆赤十字病院（日本赤十字社）、三島総合病院（独立行政法人地域医療機能推進機構）が加わり、さらなる医療連携の強化を図ります。

看護師特定行為研修

令和 4 年度は、術中麻酔領域、救急領域、集中治療領域の 3 パッケージ研修を開始しました。遠方受講生の受講環境にも配慮し、Web（Zoom）等も活用して研修が行われました。院内

10名、院外2名の受講生が特定行為研修を修了し、現在28名が在籍しています（令和4年度終了時点）。

大規模地震時医療活動対応訓練

静岡県を主会場とした大規模災害時医療訓練（政府訓練）に静岡病院 DMAT チームが参加し、連動して院内災害訓練を実施しました。DMAT チームは政府訓練において国、地方公共団体等と連携し、県内外の大規模地震時医療活動時に係る組織体制の機能と実効性の確認を行い、院内訓練では院内災害対策本部を中心に院内・外と相互協力体制の円滑化の検証を行いました。

インターネット回線の増強（統合インターネットの整備）

ADSL 回線廃止に伴い、院内のインターネットを院内 LAN に集約を図り、複数経路（回線、機器等）を統合によるインターネット負荷分散と耐障害性を担保できる統合インターネットを3月までに整備しました。

【浦安病院】

口腔ケア室開設

令和4年5月1日より「口腔ケア室」を開設しました。不衛生な口腔環境に起因する口腔内細胞の量的・質的制御、挿・抜管時に生じる歯牙損傷や脱落事故の対策、口腔感染源からの術後合併症の対策、摂食機能への対応などを行います。

新型コロナウイルスワクチン個別接種及び厚生労働省安全性調査の実施

当院で実施している市民向けの新型コロナウイルスワクチン個別接種については、7月4日より、ファイザー社製からノババックス社製のワクチンに変更し、1～3回目接種を行いました。ノババックス社製ワクチンの使用に伴い、厚生労働省によるワクチン接種後の健康状況に関する調査（安全性調査）に協力しました。

外来リニューアル

令和4年7月25日に整形外科、小児科・小児外科、8月22日に呼吸器内科・呼吸器外科の外来をリニューアルしました。

整形外科外来は、小手術室を併設し、局所麻酔やブロック麻酔で可能な骨折や腱断裂に対する手術、バネ指手術や手根管症候群の手術を日帰り手術で行うことが可能になりました。また、より高度な診療と研究成果を提供するため、外傷・再建センター、手外科センター、スポーツ医学センターの3つのセンターを同外来に併設しました。

小児科・小児外科外来は、隔離陰圧室の設置と感染が疑われる患者と一般の患者の動線を分ける等の感染予防対策の強化を図りました。また「お子さんが安心して受診できる環境にしたい」というスタッフの思いから、受診する子ども達にも直感的に分かるよう、各診察室の扉に動物のイラストをデザインし、室内はそれぞれ明るく、楽しい内装にしました。

呼吸器内科・呼吸器外科外来は、新型コロナウイルスやインフルエンザ、肺結核等、様々な感染症疾患に安全に対応できるよう隔離陰圧室を設置しました。また、呼吸器内科と呼吸器外科をこれまでどおり隣接させることで、円滑な連携を行えるようにしました。

結核患者収容モデル事業実施施設の指定

結核患者の高齢化等に伴って複雑化する高度な合併症を有する結核患者に対して、収容治

療のより適切な基準を策定するためのモデル事業として、厚生労働省より指定を受けました。今後、結核モデル病床として認可された 3 床の整備を行い、同事業に取り組んでいきます。

【順天堂越谷病院】

広報活動の強化

広報活動の一環として、ホームページのリニューアルを図り、動画による健康講座を開設しました。当講座は毎月開催し、医師をはじめ診療支援部門からの動画についても、オンデマンド形式でいつでも視聴できるよう対応しています。病病連携、病診連携の一環として、医療連携だよりを新たに作成、近隣医療機関に送付しました。診療日割表、診療科案内のリーフレットを東部二次医療圏を中心に送付し、医療連携の強化に努めました。

医療観察法への協力

心神喪失者等医療観察法に基づく指定通院医療機関として、さいたま保護観察所と連携して、対象患者の社会復帰に向けて地域精神医療への貢献を図っています。

パーキンソン病患者に対する体操教室・ダンス教室

脳神経内科では運動機能の低下してきた通院患者を対象に、日常生活の QOL 維持、向上のため、定期的に体操教室、ダンス教室を開催しています。プロのダンス・インストラクターの振り付けのもと、受講者の評価を診療科で行い、外来診療にフィードバックしています。

【順天堂東京江東高齢者医療センター】

医療連携強化

最新の診療ガイドライン及びエビデンスと医療情報の提供を目的とした「高齢者医療に関する WEB 学術講演会」を近隣 3 区の医師向けに毎月 1 回実施しています。

認知症疾患医療センターにおいて、地域医療従事者への認知症ケアの研修会や患者、家族、医療従事者の交流会等を実施しました。

「線維筋痛症・全身の痛み外来」の開設

脳神経内科が「線維筋痛症・全身の痛み外来」の専門外来を開設しました。3 ヶ月以上続く全身の痛み、しびれが継続する場合や、こわばり、慢性の疲労感、頭痛、四肢や手指の関節痛や筋肉痛、顎関節の痛み、抑うつ感、不眠症といった症状が対象です。

めまいリハビリ入院の開始

耳鼻咽喉科が「めまいリハビリ入院」プログラムを開始しました。高齢者における緩徐に進行する持続性のフラツキ感や歩行時の不安定感を特徴とした「加齢性平衡障害」に対して、3 日間の入院治療を行います。

マンモグラフィ新規設置、CT 装置更新

地域の要望が強かった乳腺外来を週 1 回開設し、マンモグラフィを設置しました。また、3 月に CT 装置を最新機種に更新しました。

病院機能評価更新認定

コロナ感染拡大により延期されていた病院機能評価の更新審査について、書面審査及び 11 月の訪問審査を受審し、2027 年 6 月までの更新が認定されました。改善要望事項及び C 評価がない良好な結果でした。

【順天堂練馬病院】

診療機能の向上

1号館病棟の再編工事完了に伴い、令和3年4月にNICU/GCUと産科手術室の新設を行い、診療機能を大幅に拡充しました。新設したNICU6床・GCU12床を中心に、新生児や28週以上で合併症を有する母体も受け入れてきました。練馬区には地域周産期センターがなく、周産期医療の地域的な不足が見受けられました。当院の周産期医療向上への努力が認められ、従来の周産期連携病院から、令和4年4月1日に東京都地域周産期母子医療センターに指定されました。

また手術支援ロボット「ダヴィンチ」の運用を泌尿器科領域より開始し、実施手術の拡大に伴い、令和4年2月より2台目のダヴィンチを導入していましたが、令和5年3月に1台目の機種を最新のものに更新し、大学附属病院として更なる低侵襲治療を推進しています。

東京都救命救急センター（3次救急）の指定

開院以来、地域に根差した救急医療体制づくりを目指し、重症の救急患者を出来る限り断らない体制整備に努めてきました。都内有数の救急車の受入実績、新型コロナウイルス感染症への取り組みが評価され、練馬区から東京都に対して当院の救命救急センター指定の働きかけが行われていました。これらを背景として、令和4年10月～12月を試行期間として、多数の3次救急患者の搬送・受入を行い評価を受けた結果、令和5年3月20日、東京都より、救命救急センター（3次救急）に指定されました。

看護師による特定行為研修

令和4年8月末に厚生労働省「特定行為研修指定研修機関」として認定を受け、10月より特定行為研修を開始しました。初年度は、特定行為のパッケージ研修：術中麻酔管理領域4名、区分別研修：呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連・動脈血ガス分析関連各2名、合計6名の看護師より開始しました。

令和5年度には、栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連と血糖コントロールに係る薬剤投与関連領域を追加し、16名程度に拡大を計画して医師からのタスクシェアと看護師のスキルアップを進めていきます。

ウクライナ避難民に係るモルドバ調査団への派遣

令和4年4月にウクライナ避難民及び周辺国支援のため、JICAにより緊急人道支援・保健医療分野協力ニーズ調査団が派遣されました。当院からは救急・集中治療科の医師1名が参加され、現地にて各国緊急医療チームの活動調整、緊急医療チームの配置計画の策定等の支援を行いました。

トルコ・シリア大地震の国際緊急援助隊への協力

令和5年2月6日に発生したトルコ・シリア大地震の国際緊急援助隊・救助チームとして、当院から2名（医師1名、看護師1名）、医療チームとして医師1名が派遣されました。被災直後の現地に入り、多数の被災者に対して救助活動や、被害状況・医療ニーズに合わせた診療活動を行いました。

17. 国際交流活動

【大学交流協定について】

江蘇省中医医院、中国リハビリテーション研究センター(ともに中国)、カリフォルニア大学デーヴィス、カリフォルニア大学アーヴァイン(ともにアメリカ)と協定を新たに締結し、協定機関は27カ国/地域、80機関となりました。

海外協定校一覧

27カ国/地域・80機関

アジア

中国 (21)

- ・北京体育大学
- ・中日友好医院
- ・中国医科大学
- ・大連医科大学
- ・大連理工大
- ・復旦大学
- ・ハルビン医科大学
- ・河南師範大学
- ・華中科技大学
- ・江蘇省中医医院
- ・蘭州大学
- ・寧夏回族自治区人民病院
- ・寧夏医科大学
- ・北京大学
- ・北京大学国際医院
- ・北京大学人民医院
- ・四川大学
- ・天津医科大学
- ・広西医科大学第一附属医院
- ・香港大学
- ・中国リハビリテーション研究センター

インドネシア (4)

- ・アイルランガ大学
- ・ガジャ・マダ大学
- ・パジャジャラン大学
- ・インドネシア大学

韓国 (4)

- ・漢陽大学
- ・仁済大学
- ・韓国体育大学
- ・蔚山科学技術大学

マレーシア (1)

- ・マラヤ大学

ミャンマー (2)

- ・国立保健研究所
- ・ヤンゴン第一医科大学

シンガポール (1)

- ・シンガポール国立大学

台湾 (5)

- ・中国医薬大学
- ・高雄医学大学
- ・国立台湾大学
- ・台北医学大学
- ・元培医事科技大学

タイ (8)

- ・チェンマイ大学
- ・チュロンコン大学
- ・カセサート大学
- ・メーファラン大学
- ・マヒドン大学
- ・ランシット大学
- ・スラナリー工科大学
- ・タマサート大学

ベトナム (2)

- ・108陸軍中央病院
- ・ベトナム軍医大学

大洋州

オーストラリア (1)

- ・西シドニー大学

ニュージーランド (1)

- ・オタゴ大学

北米

アメリカ (11)

- ・ブリガム・アンド・ウィメンズ病院
- ・ジョンズ・ホプキンス大学
- ・スタンフォード大学
- ・カリフォルニア大学デーヴィス
- ・カリフォルニア大学アーヴァイン
- ・ハワイ大学
- ・マイアミ大学
- ・ミネソタ大学
- ・ニューメキシコ大学
- ・MDアンダーソンがんセンター
- ・ヴァンダービルト大学

中南米

ブラジル (1)

- ・ベルナンブコ連邦大学

欧州

ベルギー (1)

- ・ブリュッセル自由大学

デンマーク (1)

- ・オールボー大学

フィンランド (1)

- ・ユヴァスキュラ応用科学大学

フランス (2)

- ・脳脊髄研究所
- ・ストラスブール大学

ドイツ (2)

- ・シャリテ医科大学
- ・ルートヴィヒ・マクスミリアン大学ミュンヘン

ハンガリー (1)

- ・ゼメルバイス大学

ポーランド (1)

- ・ポズナン医科大学

ロシア連邦 (1)

- ・カザン連邦大学

スペイン (2)

- ・カルロスIII世大学
- ・サラマンカ大学

イギリス (2)

- ・デモントフォート大学
- ・ロンドン大学聖バーツ病院

ウズベキスタン (1)

- ・ウズベキスタン保健省

中東

バーレーン (1)

- ・アラビアンガルフ大学

イラン (1)

- ・テヘラン医科大学

トルコ (1)

- ・アジュバーテム大学

【国際研究活動について】

○ 順天堂大学教員のサバティカル研修について

教員のサバティカル研修制度を実施しています。サバティカル研修とは、教育・研究の遂行に必要な資質の向上を図るため、教員自らが研究目標を定めて一定の期間にわたり国内外の教育・研究機関において研究活動に専念する研修のことを指します。海外で学位を取得した研究者や海外での教育研究歴を有する者の獲得、または若手教員のキャリア支援にとって有効な制度の一つとして考えられており、国内外の多くの大学が取り入れています。

本学にとって、国際化を推進し、優秀で多様な人材を育成・確保していくことは喫緊の課題となっています。また優秀な若手教員のグローバル・ファカルティ・ディベロップメントのニーズに応えることは本学の発展に欠かせません。令和4年度は医学部5名、スポーツ健康科学部1名を派遣しました。

【学術交流について】

大学間交流イベント等を開催しました。

開催日	相手先	内容
6月25日	中国医科大学（中国）	中国医科大学看護学国際会議-第二回日中看護国際シンポジウム（オンライン）
10月12日	北京大学（中国）	第8回順天堂大学-北京大学国際学術シンポジウム（オンライン）
10月19日	中日友好病院小児科（中国）	中日小児科会議（オンライン）
10月24日	北京大学（中国）	Peking University Health Science Center 110th Anniversary Celebration and International Symposium on the Frontiers of Oncology（オンライン）
10月28日	中日友好病院、北京医学奨励基金会、北京健康促進会（いずれも中国）	中日臓器提供・移植学術フォーラム（オンライン）
10月31日	中日友好病院（中国）	中日病理学学術交流会プログラム（オンライン）
11月1日	江蘇省中医院（中国）	順天堂医院-江蘇省中医院学術交流会（オンライン）
11月15日	ランプン大学（インドネシア）	ランプン大学副学長来訪（対面）
11月21日	モンゴル教育相（モンゴル）	モンゴル教育省事務次官来訪（対面）
11月28日	独立行政法人国際協力機構	ブータン研修員来訪（対面）
12月1日	中国医科大学（中国）	中国医科大学医学教育オンライン交流会（オンライン）
12月8日	中国リハビリテーション研究センター（中国）	中国リハビリテーションセンター-保健医療学部協定調印式（オンライン）
2月14日	ナラーティワートラーチャナカリン大学（タイ）	ナラーティワートラーチャナカリン大学関係者来訪（対面）
2月15日	SigHealth（シンガポール）	シンガポール SigHealth 関係者来訪（対面）
2月21日	マヒドン大学（タイ）など	タイ病院管理職研修受け入れ（対面）
3月27日	中国リハビリテーション研究センター（中国）	中国リハビリテーションセンター関係者来訪（対面）

【留学生の研修・交流活動について】

「留学」の在留資格を有する長期外国人留学生は 19 カ国／地域から合計 158 名在籍しました。

○ 外国人留学生【在留資格：留学】（令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで）

No.	国／地域名	人数	No.	国／地域名	人数
01	中国	116 名	11	バングラデシュ	1 名
02	韓国	6	12	トルコ	1
03	台湾	5	13	イラン	1
04	ミャンマー	5	14	ブラジル	1
05	ベトナム	4	15	コンゴ民主共和国	1
06	インドネシア	3	16	イギリス	1
07	ウズベキスタン	3	17	タイ	1
08	メキシコ	3	18	ブータン	1
09	マレーシア	2	19	ルーマニア	1
10	カンボジア	2	合計：19 カ国／地域		158 名

※学部生、大学院生（修士・博士）、外国人研究生

○ 外国人短期研修生（令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで）

(1) 国／地域別受入数

No.	国籍	人数	No.	国籍	人数
01	日本*	43	16	イラク	1
02	タイ	25	17	カンボジア	1
03	ドイツ	20	18	ジンバブエ	1
04	ウクライナ	17	19	スイス	1
05	中国	13	20	スペイン	1
06	台湾	10	21	ドイツ	1
07	アメリカ	7	22	ドイツ・イタリア	1
08	イギリス	7	23	トルコ	1
09	インドネシア	6	24	ペルー	1
10	韓国	5	25	ポーランド	1
11	オーストラリア	4	26	マレーシア	1
12	オーストリア	2	27	ミャンマー	1
13	フィリピン	2	28	メキシコ	1
14	フランス	2	29	香港	1
15	イタリア	1	合計：29 カ国／地域		178 名

*海外の大学に在籍する日本人学生

(2) 学部別受入数

学部	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
医学部	19	21	34	43	38	36	39	44	45	37	43	51	450
国際教養学部	0	0	0	0	0	0	7	7	7	7	7	7	42
保健医療学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	4
計	19	21	34	43	38	36	46	51	52	46	52	58	496

※延べ人数を各月毎に算出（実人数は178名）

【国外研修・交流活動について】

各学部で国外研修・交流活動を実施しました。

学部	内容	実施期間	参加人数
医学部	熱帯医学研究会タイ研修（マヒドン大学等） （タイ/現地実施）	令和5年 3月11日 ～ 3月25日	4
スポーツ健康科学部	カセサート大学国際交流プログラム （タイ/現地実施）	令和4年12月 7日 ～12月12日	12
医療看護学部	デモントフォート大学研修 （英国/オンライン実施）（全15コマ）	令和4年10月 6日 ～2023年 2月	14
医療看護学部	マイアミ大学研修 （米国/オンライン実施）	令和5年 2月20日 ～ 2月25日	5
医療看護学部	タマサート大学研修 （タイ/現地実施）	令和5年 2月26日 ～ 3月 3日	3
保健看護学部	ウズベキスタン研修 （ウズベキスタン/現地実施）	令和4年 8月17日 ～ 8月25日	19
国際教養学部	セブ島英語短期研修 CPILS （フィリピン/現地実施）	令和4年 8月28日 ～ 9月24日	43
国際教養学部	春のフランス語学研修（ルーアン） （フランス/現地実施）	令和5年 2月18日 ～ 3月 6日	31
国際教養学部	春のセブ島短期英語研修 CPILS （フィリピン/現地実施）	令和5年 2月19日 ～ 3月18日	3
保健医療学部	シンガポール短期臨床研修 （シンガポール/現地実施）	令和4年 8月15日 ～ 8月19日	5
保健医療学部	理学療法学科カナダ短期留学 （カナダ/現地実施）	令和4年 8月14日 ～ 8月28日	1

18. 文部科学省等採択事業の概要

科学研究費助成事業

令和4年度文部科学省「科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）」（同省令和5年1月公表）の新規採択率は31.2%、採択件数は718件（継続含む）で私立大学620校中、採択件数・配分額ともに第3位となりました。本学の研究活性化に伴い採択件数、配分額ともに増加基調を続けています。

私立大学等研究設備整備費等補助金・私立学校施設整備費補助金

令和4年度文部科学省「私立大学等研究設備整備費等補助金（私立大学等研究設備等整備費）」に大学院医学研究科研究基盤センター細胞機能研究室から事業申請した研究設備「Cell Motion Imaging System SI8000」が採択されました。また令和4年度私立学校施設整備費補助金（私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費）に医学部解剖学・生体構造科学講座から申請した教育装置「80列マルチスライスCT装置 Aquilion Lighting/Helios 一式」が採択されました。これらの研究設備・教育装置を活用し、更なる教育研究の充実を図ります。

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）

文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」に採択されました。東京医科歯科大学と連携して行う本事業では、女性研究者のライフイベント及びワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境の整備を実施し、女性研究者の研究力向上のための取組として、オンラインにて合同シンポジウム等を開催しました。ライフイベントにより研究中断、あるいは離職した女性研究者の復帰・復職支援及び女性研究者の上位職への積極登用に向けた取組を行い、「グローバル女性リーダーの育成・輩出」と「医療系大学における女性上位職登用促進モデルの構築」を実現するため、数値目標を掲げ、独自のアイデアで全学を挙げ取組んでいます。

その他

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 統計数理研究所が中核機関となる文部科学省人工知能等社会実装研究拠点事業費補助金「統計エキスパート人材育成プロジェクト」の参画機関として、統計エキスパートの育成を実施しています。

19. 教育研究施設・設備の充実

【本郷・お茶の水キャンパス】

留学生寮新築工事

国際化をより一層推進すべく、本郷・お茶の水キャンパス近傍に留学生寮を新築しています。令和6年7月に竣工予定です。



【さくらキャンパス】

新体育館・プール新築工事

昨年移設したテニスコート（8面）跡地に新体育館・プールを新築しています。可動床の採用により、2.25m～0mまで深さの変わる50mプールと国際大会も可能な体育館（学内診療所を併設）の新設により、より一層の活躍が期待されます。令和5年7月竣工予定、9月20日供用開始予定です。



2号館空調機更新工事

30年余り使用してきた吸収式冷温水発生器に代わり、高効率のガスヒートポンプ（GHP）式空調設備に更新しました。これにより良質な学修環境の提供が担保されるとともに、省エネルギー化が図られました。

2号館 21番 22番教室改修工事

令和5年3月に2号館2階の21番/22番教室を改修しました。昭和63年のさくらキャンパス移転時に、習志野キャンパスから移設して使用し続けてきた什器や旧式のAV・ICT機器を更新するとともに、内装についても壁の再塗装と床材の貼替えを実施し、明るく快適な学修環境が整いました。



改修前



改修後

【浦安キャンパス】

シミュレーション教育研究センター整備

令和4年9月に体育館の大空間を利用して大学院シミュレーション教育研究センターの整備を行いました。関東圏内で最大規模となり、研究拠点・人材育成拠点として活用します。



【三島キャンパス】**校舎新築工事**

2024（令和6）年4月の定員増に向けて校舎を新築しています。新校舎にはラーニングcommons、屋内運動スペースを整備するほか、併設する多目的スペースでは講習等幅広い活用を予定しています。2024（令和6）年3月に竣工予定です。

**【浦安・日の出キャンパス】****Ⅱ期校舎（2号館）整備**

浦安・日の出キャンパスⅡ期校舎（2号館）を新築しています。令和5年4月に開設される健康データサイエンス学部が主に使用し、ラーニングcommonsや学術メディアセンター等が整備されます。令和5年7月に竣工予定です。



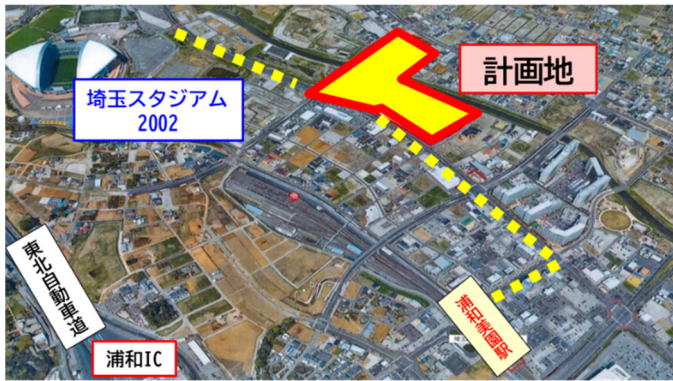
20. 大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画について

大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画の概要と進捗状況は以下のとおりです。

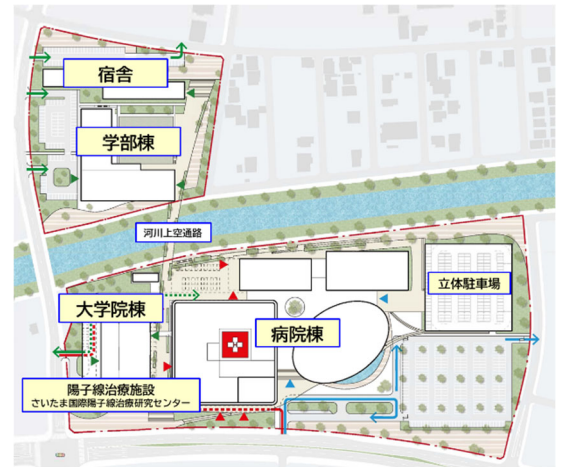
(1) 浦和美園新キャンパス（仮称）整備事業

埼玉県が県北の医療機関の医師不足解消のため 2016 年大学病院誘致の公募を行ない、本学が誘致を受けました。進出条件について県と協議を行ない、2021 年 12 月に病院計画変更申請書を提出し、2022 年 5 月にさいたま市浦和美園の地に順天堂の 7 番目の附属病院（病床数 800 床）を 2027 年 11 月に開院することが許可されました。

2022 年 5 月に天野篤理事を委員長とする設立準備委員会が発足し、基本計画の検討が進められ 2022 年 12 月に基本設計者として株式会社久米設計を採択し、最先端の医療機能を兼ね備えた次世代型高度急性期病院の実現に向けて基本設計の作業を進めています。



浦和美園新キャンパス計画地



配置計画（案）

(2) 旧元町小学校の整備と元町公園との一体的活用整備事業

2022 年 11 月、元町ウェルネスパーク（仮称）の運営事業者として建設工事に着手しました。2025 年 4 月に元町の歴史を継承しつつ、人々が永く健やかに暮らすための拠点として、公共と民間が協働で運営する健康をテーマとした様々な事業を展開する施設が開設される予定です。

この施設では、多様な保育施設による子育て支援、幅広い世代の方がつながる交流スペースづくりや、新しい医療機器／技術の開発、子どもから高齢者まで楽しめるスポーツプログラムの実施、健康に配慮したカフェレストラン運営等が行われ、有事には災害拠点として機能します。



完成時のイメージパース



また、施設は区が保全する建物と本学が新築し活用する建物とに分かれますが、本学の建物にはAI インキュベーションファームが開設されます。

AI インキュベーションファームは、人工知能(AI)、Internet of Medical Things (IoMT)、デジタルヘルス等に関わる研究・開発・社会実装における産学官民連携の強化及び産業創出の好循環を生み出す次世代医療エコシステム形成を目指します。

令和4年7月1日には、AI 医療研究を促進するための会員制プログラム「AI Incubation Farm Partners」が発足し、企業及びスタートアップと共同研究につながる連携が15件に達しました。



AI インキュベーションファームのキービジュアル

AI Incubation Farm Partners とは?

AI インキュベーションファーム が運営する、AI 医療研究を促進するためのプログラム

<p>秘匿性が担保された 活発な意見交換会及び勉強会</p>  <p>臨床医が毎回同席します</p>	<p>NEDO、東京都及び 文京区との連携</p>  <p>様々な支援策のご案内、 要望に応じた特区制度の整備など</p>
<p>契約サポート</p>  <p>契約者たたき案作成支援、 最終契約書レビューなど</p>	<p>順天堂オープンイノベーション プログラム GAUDI との連携</p>  <p>副資金調達、社会実装までの ワンストップ支援プログラム</p>
<p>様々なセミナーや イベントの開催</p>  <p>aif主催セミナー他、 毎年3回Link-J様共催イベント実施</p>	<p>企業ロゴの掲載</p>  <p>来年度、 webサイトリニューアル予定</p>

AI Incubation Farm Partners 支援内容

21. スポーツ分野での活躍

○全国大会での活躍

【陸上競技】

陸上競技部は創立 70 周年の節目に、第 91 回日本学生陸上競技対校選手権大会で 2 連覇 30 回目の男子総合優勝を果たして華を添えました。種目別では 100m で宇野勝翔選手（スポーツ科学科 3 年生）、110m 障害で村竹ラシッド選手（スポーツ科学科 3 年生）、10000m 競歩で住所大翔選手（大学院博士前期課程 1 年生）、棒高跳で石丸颯太選手（大学院博士前期課程 2 年生）がそれぞれ優勝を果たしました。



陸上競技部 男子総合 2 連覇 30 回目

【体操競技】

体操競技部は第 76 回全日本学生体操競技選手権で 3 連覇 13 回目の優勝を果たしました。橋本大輝選手（スポーツ科学科 3 年生）は種目別で 4 種目を制して、個人総合で 3 連覇を達成しました。この大会の 3 連覇は本学体操競技部の富田洋之監督以来、20 年ぶりの快挙となりました。



体操競技部 男子団体 3 連覇 13 回目

【スカッシュ】



スカッシュ部 男子 6 連覇 女子 2 連覇

スカッシュ部は第 48 回全日本学生スカッシュ選手権大会団体戦で、男子・女子ともに予選リーグから決勝まで 1 人も敗れることのない強さで、男子は 6 大会連続 13 回目、女子は 2 大会連続 11 回目の優勝を果たしました。

第 49 回全日本学生スカッシュ選手権大会では、女子の部で平野未悠選手（スポーツ科学科 3 年生）が 3 年ぶりに優勝を果たしました。

○世界の舞台での活躍

【体操競技】

世界選手権（英国・リバプール）で、橋本大輝選手が男子個人総合で初優勝を果たしました。橋本選手は東京五輪でも金メダルを獲得しており、日本勢 2 人目となる五輪・世界選手権の両大会覇者となりました。橋本選手はこのほか、種目別のゆかと鉄棒で銀メダルを獲得、団体総合メンバーとしても 2 位となり、今大会で「金」1 つ、「銀」3 つの計 4 つのメダルを獲得しました。

また本学 OB の谷川航選手（平成 31 年卒）が銅メダルを獲得しました。



最終種目の鉄棒の着地を決めた橋本大輝選手
©共同通信社

【陸上競技】

第 18 回世界陸上競技選手権大会（米国・オレゴン州）に本学から 3 名の選手が出場しました。男子 3000m 障害に出場した三浦龍司選手は予選 2 組で 5 着、男子 110m 障害に出場した村竹ラシッド選手は予選 4 組で 6 着と、それぞれ健闘、男子 20km 競歩で住所大翔選手は 8 位入賞を果たし、堂々と世界の一流選手と渡り合いました。



健闘の村竹ラシッド選手 ©共同通信社



大会初出場で 8 位入賞の住所大翔選手

世界の競合が集う陸上・ダイヤモンドリーグ大会では、男子 3000m 障害で三浦龍司選手がファイナルへの進出を果たしました。ファイナルには DL 各大会で上位成績を収めた世界のトップ選手しか出場できず、日本人選手の中長距離種目への出場は初めてとなりました。

ファイナルでは三浦選手は 4 位と惜しくも表彰台には届きませんでしたでしたが、世界の頂きが見えた大健闘でした。



今季自己記録で世界 4 位の三浦龍司選手
©Getsuriku

22. プレスリリース

○研究成果関係

発信日	タイトル [部門]
4. 4. 6	高時間分解能解析により膵 β 細胞新生の新たな特徴が明らかに ～糖尿病再生医療への応用に期待～ [代謝内分泌内科学]
4. 12	MAC が NET 形成を誘導することで肺の組織障害を引き起こすことを発見 ～重症化因子の特定・創薬への可能性～ [環境医学研究所、呼吸器内科学]
4. 15	サルコペニアと肥満の併発で認知症のリスクが増大 ～高齢者を対象とした文京ヘルスタディで明らかに～ [スポーツロジセンター、代謝内分泌内科学]
5. 20	「てこ」と「ドミノ倒し」で巧妙に開くイオンの経路 ～新規不整脈治療薬へ向けた手がかりを提示～ [薬理学講座]
5. 26	順天堂医院の医療従事者を対象に新型コロナウイルス抗体検査を実施 ～ワクチン接種後の抗体産生量の個人差と時間変化を特定～ [順天堂医院臨床検査部、安全衛生管理室]
5. 31	フルマラソン以上を走る“ウルトラマラソン”。2日間で96kmの“超長距離”を走破した日本人ランナーの腸内細菌叢の変化を調査 ～免疫機能に関わる酪酸産生菌が減少。フルマラソンとは異なる変化が～ [スポーツ健康科学部]
6. 2	腱細胞でのメカノセンサーPIEZO1が個体の運動能力を向上させることを発見 ～健康寿命増進のための発展応用へ期待～ [大学院スポーツ健康科学研究科]
6. 13	ビフィズス菌摂取による軽度認知障害患者の認知機能改善ならびに脳萎縮進行の抑制効果を確認 [ジェロントロジー研究センター]
7. 4	心臓サルコイドーシスの心イベント関連因子が明らかに ～世界最大の国内多施設レジストリからの報告～ [循環器内科学]
7. 12	安定冠動脈疾患合併心房細動に対する抗血栓療法の有効性・安全性を検証 ～至適抗血栓療法の確立に向けて～ [循環器内科学]
7. 12	高精度光線-電子相関顕微鏡法の高感度化・長期安定化に成功 ～神経変性疾患などの超微形態解析への応用に期待～ [老人性疾患病態・治療研究センター]

発信日	タイトル [部門]
7. 15	男性ホルモン濃度の低下は腸内細菌叢の多様性を損なうことが判明 ～前立腺がんの内分泌治療の副作用低減に期待～ [泌尿器外科学、細菌叢再生学講座]
7. 20	カテプシン D 欠損が中枢神経組織に与える影響を解明 ～プロテオパチー関連神経疾患の動物モデルとしての期待～ [老人性疾患病態・治療研究センター、薬理学講座、研究基盤センター形態解析イメージング研究室]
7. 22	スマートフォンアプリケーションによるドライアイ診断補助の信頼性と妥当性を検証 ～スマートフォンアプリ「ドライアイリズム®」を用いた臨床研究～ [眼科学]
8. 4	長距離走のような「きつい」運動のパフォーマンスに関わる脳内メカニズムを明らかに ～運動し続けるために必要な血液循環調節に扁桃体中心核が関与～ [スポーツ健康科学部]
8. 8	持続グルコース測定が有用な糖尿病患者の特徴を明らかに ～HbA1c による血糖コントロール評価の限界～ [代謝内分泌内科学]
8. 17	行動の抑制を生み出す新たな神経回路の発見 ～超音波刺激での脳深部刺激により全脳レベルの情報処理回路の解明へ～ [神経生理学]
8. 22	遺伝性乳がんの新しい動物モデルの作製に成功 ～遺伝性乳がんが出やすくなる仕組みの解明や、予防法の研究開発への応用に期待～ [臨床遺伝学、乳腺腫瘍学]
8. 24	遊離皮弁の皮膚表層深さ 1 mm の毛細血管循環に対する血流スコープ使用によるリアルタイム評価に成功 ～毛細血管の観察所見から血流トラブルを無侵襲で判別できる可能性～ [形成外科学]
8. 24	分子標的薬トラスツズマブが誘発する重症心毒性に炎症誘導経路が関与 ～心毒性を回避し持続可能な癌治療実現に期待～ [乳腺腫瘍学、細胞・分子薬理学、難病の診断と治療研究センター、ゲノム・再生医療センター]
8. 25	東アジアに多い小児脳腫瘍「頭蓋内胚細胞腫瘍」の発症に関わる遺伝子の発見 [脳疾患連携分野研究講座]
8. 25	職場での不妊治療関連のハラスメントの要因を調査 ～職場でのサポート体制の整備と不妊治療に関する啓発活動の両立が重要～ [公衆衛生学講座、産婦人科学講座]

発信日	タイトル [部門]
9. 6	アトピー性皮膚炎の炎症を軽減する抗菌ペプチドを確認 ～オートファジーを利用したアトピー性皮膚炎の治療法開発に向けて～ [皮膚科学・アレルギー学、アトピー疾患研究センター、器官・細胞生理学]
9. 6	高齢男性では糖尿病予備群の段階からサルコペニアのリスクが増大 ～高齢者を対象とした文京ヘルスタディで明らかに～ [代謝内分泌内科学・スポーツロジセンター]
9. 12	多色蛍光シグナル増幅システム FT-GO 法の開発に成功 ～操作安定性が高く簡便な多色蛍光シグナル増幅システムを構築～ [脳回路形態学]
9. 16	高齢化する HIV 感染者の治療薬処方状況と内服継続率が明らかに ～ナショナルデータベースによるビッグデータ解析を実施～ [総合診療科学、データサイエンス推進講座]
9. 21	MRI によるアルツハイマー病患者の脳クリアランスシステムの解明 ～アルツハイマー病の新たな予防法・治療法につながる可能性～ [放射線診断学、健康データサイエンス学部開設準備室]
9. 27	パーキンソン病患者初期に甲状腺-肝連関が変化することを発見 ～超早期診断および甲状腺機能低下を標的とした治療開発を切り拓く～ [神経学]
9. 27	オメガ6 脂肪酸の男性ホルモン産生における役割を解明 ～加齢男性性腺機能低下症候群 (LOH 症候群) への治療応用の可能性～ [生化学・細胞機能制御学]
9. 28	慢性移植片対宿主病 (GVHD) が悪化する新たなメカニズムを解明 ～免疫細胞が産生する IL-26 は慢性炎症疾患の新しい治療標的になり得る～ [免疫病・がん先端治療学講座]
9. 30	新型コロナウイルス感染症の重症症例では、中和抗体の活性化が S 抗体の産生よりも遅れて起こる ～診断、治療、予防的介入の指標としての S 抗体価の利用には慎重な解釈が必要～ [順天堂医院臨床検査部]
10. 12	オートファジーに重要な新しいリソソーム輸送機構の発見 ～パーキンソン病創薬へ繋がる可能性～ [神経学]
10. 18	冷蔵保存後の多血小板血漿 (PRP) 点眼における角結膜上皮障害に対する創傷治癒促進効果および無菌性を確認 [眼科学]

発信日	タイトル [部門]
10. 20	世界初！花粉症研究用スマホアプリ「アレルサーチ®」に患者・市民参画を取り入れた研究を実施 ～患者・市民の声を採り入れたアプリ研究を実現～ [眼科学]
10. 25	目のつらいかゆみに関わるタンパク質を同定 ～目のアレルギーの新たな治療薬開発に期待～ [浦安病院眼科]
11. 2	骨格筋の超高速カルシウムイオン遊離システムの再現に成功 ～ 難治性筋疾患の発症機構解明・治療薬開発に向けて ～ [細胞・分子薬理学]
11. 10	日独における新型コロナウイルス感染症の重症度と病態の比較 ～ 人種によって異なる血管内皮の性状が重症化リスクと関連する ～ [ゲノム・再生医療センター、バイオリソースバンク活用研究支援講座]
11. 11	自殺者では非自殺死亡者よりリチウム濃度が低い—眼房水解析— [公衆衛生学講座]
11. 28	ビフィズス菌 BB536 (Bifidobacterium longum BB536) 摂取により、高齢者慢性便秘患者の便秘症状や上腹部症状が改善することを確認 [消化器内科学、ジェロントロジー研究センター、腸内フローラ研究講座]
12. 5	海綿から造血サイトカイン様の新規タンパク質 ThC を発見 ～骨髄増殖性腫瘍の発症メカニズム解明の加速に期待～ [骨髄増殖性腫瘍治療薬開発講座 (共同研究講座)]
12. 13	小胞体での脂質のグルコース化反応は低酸素ストレスによる細胞死を抑制する ～脂質により誘導される小胞体ストレスへの新たな細胞応答機構～ [環境医学研究所]
12. 24	体温を調節するマスター神経細胞を同定 ～体温・代謝の制御機構の全貌解明と新たな肥満治療技術の開発に可能性～ [脳回路形態学]
12. 26	食事パターンを決めるのはお酒の強さか？飲酒量か？ ～高齢者を対象とした文京ヘルスタディで明らかに～ [スポーツ医学・スポーツロジ、代謝内分泌学]
12. 27	UFM1 システムを介したオートファジーによる小胞体分解を発見 ～遺伝性小児てんかん性脳症との関連を示唆～ [器官・細胞生理学]
12. 27	心不全を有さない心臓サルコイドーシスにおいて、BNP は心イベントの有用な予測因子である ～心臓サルコイドーシスにおける BNP 測定の意義～ [循環器内科学]

発信日	タイトル [部門]
5. 1. 12	なぜバセドウ病にヨウ素（ヨード）が効くのか？ ～150年にわたる謎を解くカギ～ [代謝内分泌内科学]
1. 25	半月体形成性糸球体腎炎発症におけるロイコトリエン B4 の役割を解明 ～難治性糸球体腎炎への治療応用の可能性～ [腎臓内科学、生化学・細胞機能制御学]
1. 26	ヒト腸内細菌の1種が持久運動パフォーマンスの向上に貢献 ～腸内フローラと運動能力の関係が明らかに～ [細菌叢再生学講座]
2. 1	糖転移酵素 Fut8 が筋発生に重要な因子であることを発見 ～糖鎖修飾がもたらす新たな筋発生～ [老年性疾患病態治療研究センター、ゲノム再生医療センター]
2. 13	アフリカ、アメリカ、アジアの低・中所得国を中心とした世界 70 か国における思春期世代の孤独感と関連要因の検討 ～いじめ対策は世界共通の孤独感の予防策になりうる～ [小児科学講座、公衆衛生学講座]
2. 15	単純 CT 画像から冠動脈周囲脂肪濃度の測定が可能に ～造影剤不要の新たな心血管イベントリスク評価法の開発～ [循環器内科学]
2. 21	双極性障害の躁・うつの方の症状を示す世界初の動物モデルの作製に成功 [精神・行動科学]
3. 9	心臓血管外科手術後の急性腎障害の発症を抑制する新しい人工心肺管理の有効性を確認 ～至適人工心肺管理の確立に向けて～ [医療科学部、心臓血管外科学]
3. 16	新原理の自己測定体液成分センサの開発 ～ナノ材料を用いて酵素の中から電子を取り出す～ [医療科学部]
3. 16	粘液分子が花粉から眼を保護する仕組みを解明 ～花粉症の新たな治療へつながる可能性～ [アトピー疾患研究センター]
3. 20	人工知能を搭載した持ち運び可能な超音波機器による新型コロナ肺炎診断 ～CT 検査との比較～ [循環器内科学]
3. 21	糖尿病における膵β細胞オートファジーの変化を明らかに ～膵β細胞機能維持機構の解明を通じて治療法の創出へ～ [代謝内分泌内科学]

発信日	タイトル [部門]
3. 21	致死性遺伝性不整脈の患者由来 iPS 細胞モデル～カルモジュリン変異が引き起こす重症不整脈～ [薬理学講座]
3. 22	花粉症の多様な鼻症状・眼症状の特徴と両症状の併存に関連する因子を解明～花粉症研究用スマホアプリ「アレルサーチ®」を用いたビッグデータ解析研究～ [眼科学]
3. 22	質問票と紫外線観測データを用いた日本の妊婦のビタミンD 栄養状態に与える要因の解明 ～ロジスティック回帰モデルの活用で妊婦のビタミンD 欠乏状態の予測が可能に～ [整形外科学]
3. 23	IgA 腎症の根治につながる病因を解明 ～世界初、メサンギウム細胞に対する IgA 型自己抗体を発見～ [腎臓内科学]
3. 27	3cm 以下の早期肺癌に対して 肺機能温存手術である区域切除の有用性を証明 ～The Lancet Respiratory Medicine に論文発表～ [呼吸器外科学]

○研究成果以外のトピックス

発信日	タイトル [部門]
4. 4. 4	順天堂東京江東高齢者医療センターが「長寿いきいきサポート外来（フレイル・サルコペニア外来）」に名称変更 【高齢者の健康長寿に影響を及ぼす「フレイル」「サルコペニア」の専門外来】 [高齢者医療センター長寿いきいきサポート外来]
4. 4	消防団員に多発するけがを予防するために！ 順天堂大学と消防基金が共同で開発した運動プログラムを動画で公開 [スポーツ医学研究室]
4. 7	スポーツ医療従事者の国際資格の講習「PHICIS コース Level 2」を順天堂大学が開催 ～国内で求められるスポーツ現場での“病院前医療”の標準化～ [スポーツ健康医科学推進機構]
4. 8	順天堂医院超音波センター開設 ～効率的かつ質の高い診療の提供を行うために、超音波検査を集約化～ [順天堂医院]
4. 8	森下英晃講師が令和 4 年度 科学技術分野 文部科学大臣表彰 若手科学者賞を受賞 ～オートファジーによらないオルガネラ分解機構を世界で初めて発見～ [生理学第二講座]

発信日	タイトル [部門]
4. 11	スポーツの魅力を動画で表現！スポーツ動画の編集力を競う学生コンペティション「第3回スポーツムービー選手権」の受賞作品が決定 [スポーツ健康科学部]
4. 12	順天堂大学とメタジェンセラピューティクスが共同研究講座「細菌叢再生学講座」を開設 [消化器内科学]
4. 13	順天堂大学と IBM、メタバースを用いた医療サービス構築に向けての共同研究を開始～順天堂医院の実物をオンライン空間で模した「順天堂バーチャルホスピタル」を起点にした新サービスの開発・提供を目指す～ [メディカル・メタバース共同研究講座]
4. 14	順天堂練馬病院が新入職員を対象に医療現場で使える「やさしい日本語」の講習を実施 ～医療現場における「やさしい日本語」の普及に向けて順天堂6附属病院での取り組みを開始～ [練馬病院]
4. 18	医療現場における安全な胸腔ドレナージの実現を目指して ARを活用したシステム開発のためのクラウドファンディングを順天堂大学が実施 [呼吸器外科学講座]
4. 27	心臓病再発予防プログラムの構築と実践を目指したデジタルデバイスの共同研究を開始 ～順天堂の「予防医療」に、ソニーとエムスリーの「デジタル技術」を融合～ [循環器内科学]
4. 27	ウクライナからの学生・研修医・研究者の受入れについて [学校法人順天堂]
5. 11	順天堂大学練馬病院が、練馬区ではじめてとなる東京都の地域周産期母子医療センターに認定されました [練馬病院小児周産期医療センター]
5. 17	本邦初 救急医療の現場にスマートグラスを試験導入 ～重症救急患者の早期治療開始と転帰・救命率向上を目指して～ [静岡病院救急診療科]
5. 20	順天堂大学が「遠隔医療」や「オンライン診療」をテーマにした公開講座を開催 [総務部、順天堂医学会]
5. 30	順天堂大学静岡病院が小児外科を新たに開設 ～静岡県東部地区の子どもたちにベストな医療を～ [静岡病院小児外科]

発信日	タイトル [部門]
6. 2	ICT を利用した脳血管内治療における遠隔指導システム「DxDoor Neuro」を共同開発 ～脳血管内治療の専門医・指導医の地理的偏在解消に向けての取り組み～ [脳血管内治療学講座]
6. 3	双方向性3次元オンライン診療システムの実証実験に成功 ～専門医と介護現場をつなぐ新しい遠隔医療の実現に向けて～ [神経学]
6. 6	難病医療相談会「腎・泌尿器系疾患」を開催 [順天堂医院、東京都難病相談・支援センター]
6. 7	「楽しいから運動する、その結果健康につながる」 順天堂大学が大学キャンパス内でネイキッド「NAKED SPOREV.」を開催 [スポーツ健康医科学推進機構]
6.13	順天堂大学×清水建設【Pandemic Ready 共同研究講座】アフター/ウイズ・コロナ時代の新たな住まいを提案 ～ニューノーマルハウジング with P.R. で家庭内感染対策を先取り～ [Pandemic Ready 共同研究講座]
6.17	順天堂大学陸上競技部男子駅伝チームと体操競技部の公式ウェアに地元・印西市のロゴ掲出が決定 [スポーツ健康科学部]
6.24	子どもたちが安心して診察を受けられるために ～順天堂大学練馬病院が女子美術大学と共同し、院内にヒーリングアートを設置～ [練馬病院]
7. 1	順天堂大学に「生殖技術フロンティア講座」を開設 ～産学連携による“ヒトを含めた霊長類の繁殖能の改善”を目指す～ [産婦人科学]
7.14	順天堂大学大学院医学研究科 AI インキュベーションファームが今年度2回目となるオンラインイベントを開催 [AI インキュベーションファーム]
7.20	順天堂大学と愛媛マンダリンパイレーツが研究協力協定を締結 ～ウェアラブルデバイスを用いた研究で選手の投球障害予防と競技力向上を目指す～ [スポーツ健康医科学推進機構、スポーツ健康科学部]
7.28	進行・再発胸腺癌に対する治療薬（カルボプラチン＋パクリタキセル＋アテゾリズマブ）の医師主導治験を開始 ～希少癌に対する新たな治療選択肢の実現にむけて～ [呼吸器内科]
7.28	順天堂大学 本郷地区情報センターがデル・テクノロジーズ社「Data Center Solutions Award」を受賞 [本郷地区情報センター]

発信日	タイトル [部門]
8. 1	難病医療講演会「炎症性腸疾患と生活・就労 ～難病治療と仕事の両立を目指して～」をオンラインで開催 [東京都難病相談・支援センター]
8. 1	言葉が通じない状況で医療機関を受診するとは、どんなことなのか？ 順天堂大学が授業で「手話の病院」を初実施。ろう者が抱える困難を医学生が体験 [医学教育研究室]
8. 9	ウクライナからの医学部生、研修医、研究者が戦時下の医療や医学教育をテーマにシンポジウムを企画 ～2022年8月18日（木） 15：00よりオンライン開催～ [国際交流センター]
8.10	難病医療相談会「血液系/耳鼻科系疾患」を Zoom または電話を使用した遠隔相談にて開催 [東京都難病相談・支援センター]
8.18	UNIVAS と順天堂大学、アスリートのコンディションについて考える「女性アスリートのためのシンポジウム」を9月6日に開催 [スポーツ健康科学部]
8.26	順天堂大学と株式会社パートナーズが共同研究講座「食と生殖機能先端研究講座」を開設 ～不妊症の改善に寄与するサプリメントの開発を目指す～ [食と生殖機能先端研究講座]
9. 7	小児に対するロボット支援下胆道拡張症手術が保険収載 ～子どもにとって大変優しく精度の高いロボット支援下手術を選択しやすくなりました～ [小児外科]
9.12	順天堂医院で重症心不全（虚血性心筋症）に対する i P S 細胞由来心筋細胞シートを用いた医師主導治験を実施 ～重症心筋症の治療に向けて～ [心臓血管外科学]
9.14	難病医療相談会「消化器科系疾患」を Zoom または電話を使用した遠隔相談にて開催 [東京都難病相談・支援センター]
9.30	東京都初 順天堂医院が睡眠時無呼吸の最新治療「舌下神経電気刺激療法」を開始 [睡眠・呼吸障害センター]
10.13	難病医療相談会「免疫疾患」を Zoom または電話を使用した遠隔相談にて開催 [東京都難病相談・支援センター]
10.19	「コロナで変わった医療現場のコミュニケーション」をテーマに『医療×「やさしい日本語」シンポジウム』を開催 [医学教育研究室]

発信日	タイトル [部門]
10. 20	高齢者に特有の“めまい”“ふらつき”を専門に治療。順天堂東京江東高齢者医療センター「めまいリハビリ入院」プログラム [高齢者医療センター]
10. 24	順天堂大学保健医療学部が市民公開講座「STOP 認知症！正しく知って予防しよう」を開催 [保健医療学部]
10. 26	順天堂大学とジョリーグッドが、VRを活用した医療・感染症教育事業をタイ・マヒドン大学で開始 [総合診療科学講座]
10. 27	難病医療相談会「神経・筋疾患」を Zoom または電話を使用した遠隔相談にて開催 [東京都難病相談・支援センター]
11. 1	COVID-19 肺炎 CT 画像によるサーベイランスシステムを開発 パンデミックに即応して研究開発が可能な ICT プラットフォーム [放射線診断学]
11. 9	課題を見つけ、解決する力を育む医学部初の STEAM 教育への試み「MEdit Lab 順天堂大学 STEAM 教育研究会」が発足、専用サイトオープンへ [人体病理病態学講座]
11. 11	LGBTQ+への取り組みの評価指標「PRIDE 指標」で順天堂大学が最高評価の「ゴールド」認定を取得 [学校法人順天堂]
11. 24	【順天堂大学陸上競技部】第99回箱根駅伝出場 共同記者会見について [陸上競技部長距離ブロック]
12. 6	バージャー病、膠原病により生じる難治性虚血性下肢潰瘍に対する細胞治療の医師主導治験を開始 ～新たな治療選択肢の実現にむけて～ [再生医学]
12. 8	順天堂大学と南足柄市、唾液を用いた認知機能検査の実証実験を実施 ～唾液中の細菌と認知機能との相関を AI で診断～ [難病の診断と治療研究センター]
12. 15	難病医療講演会「ステロイド治療と妊娠・出産 ～免疫抑制剤など新薬を含めた付き合い方～」をオンラインで開催 [東京都難病相談・支援センター]
12. 20	デジタルヘルス・医療 AI 研究開発のための都心型研究センター開設に向けて ～順天堂大学 AI インキュベーションファームのロゴが決定～ [AI インキュベーションファーム]

発信日	タイトル [部門]
5. 1. 4	潰瘍性大腸炎を対象とした「抗菌薬併用腸内細菌叢移植療法」が先進医療 B として承認、2023 年 1 月より実施 [細菌叢再生学講座]
1. 18	順天堂大学とメディカルログ LINE を活用した医療・感染症教育ツールの提供をタイで開始 [総合診療科学講座]
1. 23	順天堂大学が公開講座 「ワンチームで乗り切る新型コロナウイルスパンデミック」を開催 ～2023 年 2 月 18 日（土）13 時よりオンラインで開催！～ [順天堂医学会]
1. 25	印西陸上クリニックの開催について [スポーツ健康科学部]
2. 8	難病医療講演会「神経難病と食事・栄養管理 － 今日から始める効果的な栄養の摂り方 －」 [難病相談・支援センター]
2. 20	『「やさしい日本語」はどの患者さんにもやさしく伝わる』をテーマに第 2 回『医療×「やさしい日本語」シンポジウム』を開催 [医学教育研究室]
2. 27	順天堂大学と湧永製薬株式会社が共同研究契約を締結 ～熟成ニンニク抽出液が肺線維症進行に及ぼす影響を明らかにする～ [呼吸器内科学講座]
3. 1	順天堂大学練馬病院の「地域コージェネレーションシステム」がコージェネ大賞 2022 で受賞しました [練馬病院]
3. 3	マスク着用ルール緩和後のオフィス感染症対策の基準に！ 順天堂大学が「ウイズコロナ・チェックリスト。」を公開 [感染制御科学]
3. 13	順天堂大学 免疫治療研究センターが市民公開講座「届けよう！治療と診断 ～みんなで繋ぐ肝・胆道疾患の未来～」を開催 [免疫治療研究センター]
3. 13	順天堂大学大学院医学研究科 AI インキュベーションファームが今年度最後となるオンラインイベントを開催 第 3 回 順天堂大学 AI インキュベーションファーム主催プログラム～大学発スタートアップ創出に向けて～ [AI インキュベーションファーム]
3. 13	順天堂大学体操競技部への宮田笙子選手、笠原有彩選手入部のお知らせ [スポーツ健康科学部]

発信日	タイトル [部門]
3. 14	<p>順天堂大学保健医療学部が市民公開講座「ひざ痛（変形性ひざ関節症）との正しいお付き合いの仕方」を開催 [保健医療学部]</p>
3. 20	<p>シンポジウム「2025 東京デフリンピックに向けてアスリート、患者さんとともに考える“誰ひとり取り残さない医療”とは？」を開催しました [スポーツ医学研究室]</p>
3. 20	<p>難病医療講演会「特発性血小板減少性紫斑病と再生不良性貧血における最新の話題」をオンラインで開催 [東京都難病相談・支援センター]</p>
3. 22	<p>質問票と紫外線観測データを用いた日本の妊婦のビタミン D 栄養状態に与える要因の解明 ～ロジスティック回帰モデルの活用で妊婦のビタミン D 欠乏状態の予測が可能に～ [整形外科]</p>
3. 28	<p>スマートフォンによるドライアイ診断補助を可能にするスマホアプリ型プログラム医療機器の開発・承認を目指し 多機関共同特定臨床研究を開始します [眼科学]</p>
3. 31	<p>順天堂大学の共同研究講座「腸内フローラ研究講座」 4月1日（土）より開設ならびに公開記念シンポジウム開催のお知らせ [腸内フローラ研究講座]</p>

23. 中期的な計画の進捗・達成状況及び令和5年度事業計画策定

1. 中期的な計画の進捗・達成状況について

令和2年度から令和6年度までの事業に関する中期的な計画に対する当期の実施状況をホームページに公表しました。

(<https://www.juntendo.ac.jp/corp/about/information.html>)

2. 令和5年度事業計画について

健康総合大学としての教育・研究・臨床の更なる向上を図るために、次の事項を令和5年度事業計画として策定しました。

【教育に関する計画】

- (1) 学部の広報活動の一環として、高等学校との連携事業を積極的に推進するとともに、入学試験改革を継続し、志願者数の増加を図る。(高大連携協定校9校から50校へ)
- (2) 健康データサイエンス学部と連携して全学で数理・データサイエンス・AI教育を推進し、令和5年度に文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」に申請するとともに、応用基礎レベルの認定取得に向けてプログラムの拡充を図る。
- (3) 学修者本位の教育に向けて教育プログラムの点検、改善を進め、教育の質保証向上に資する教学マネジメントシステムの整備を図る。
- (4) 薬学に関する多角的な視点、専門知識及び技能を修得し、臨床実践能力と研究マインドを兼ね備え、健康・福祉の向上に貢献できる薬剤師を養成するために、浦安・日の出キャンパスに第9番目の学部となる令和6年度薬学部(仮称)の開設準備を進める。

【研究に関する計画】

- (5) 基礎研究の基盤強化・充実を図り、産学連携の推進(共同研究、寄付講座・共同研究講座の設置)や科学研究費補助金等の競争的研究費獲得(令和4年度科研費実績14億円の上乗せを目指す)をURAを中心とした研究支援を組織的に行い、その成果を国内外に広く広報する。
- (6) 若手研究者の育成や女性研究者躍進のための支援の充実を図る。
- (7) PPI(Patient and Public Involvement)の概念をベースとして、患者・市民とともに医学研究を推進する。
- (8) 研究不正防止体制の拡充として、各部門でのコンプライアンス教育、研究倫理教育等の研究不正防止体制を拡充し、研究の国際化に対応するために、安全保障輸出管理体制の効果的な運用を組織的に行う。
- (9) 国内外を問わず多様な場で社会貢献できる高度な実践能力をもち、国際教養学のあり方を探求することのできる人材の養成を目的として、国際教養学部を基礎とする大学院国際教養学研究科(仮称)の開設準備を進める。

【社会貢献・社会連携に関する計画】

- (10) オープンイノベーション (GAUDI) を推進し、産学連携による知の拠点としてイノベーションを創出するための体制強化を図る。
- (11) プレスリリース、オウンドメディア等、多彩な媒体の特徴を活かした広報活動を通して大学情報の発信を行う。

【国際化に関する計画】

- (12) 国際化の推進を図り、世界各国・地域からの留学生の一層の増員を推進する。その取組として、①留学生受け入れのための教育・居住環境の整備と経済的支援を図る、②留学生や外国籍研究者に対する日本語学習支援を拡充する。
- (13) 本学学生の国際化を図るため、留学プログラムや支援制度を拡充する。

【臨床に関する計画】

- (14) PHR (Personal Health Record) の共有化を促進し、個々の患者に対して優良な医療を提供する。
- (15) 高度先進医療の更なる充実と地域医療への貢献を軸として各附属病院の特色を活かした医療を実践するとともに、附属病院の再編計画に向けて検討を進める。
- (16) 海外から高度先進医療を求めて受診する患者に対し、国籍による差別なく対応を行い、患者増を図る。
- (17) 埼玉浦和美園新病院開設に向けて着実に準備を進める。

【管理運営に関する計画】

- (18) 新学部・新病院の設置等大規模プロジェクトの進行に対応すべく安定した財政基盤の確立を目指す。
- (19) 教学及び医療をはじめとする様々な業務について、DX (Digital Transformation) を推進し、業務の最適化、効率化を図る。

24. 令和4年度事業の収支及び財務状況の概要

当期の事業収支及び財務状況について、その概況を報告します。なお金額は百万円未満を端数処理(四捨五入)して表記していますので、合計と一致しないことがあります。

(1) 資金収支計算書

(収入の部)

単位：百万円

科 目	補正後予算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	11,721	11,714	7
手数料収入	545	575	△ 31
寄付金収入	1,311	1,507	△ 196
補助金収入	10,981	14,489	① △ 3,508
資産売却収入	5	7	△ 2
付随事業・収益事業収入	6,263	7,010	② △ 747
医療収入	169,773	170,637	③ △ 864
受取利息・配当金収入	148	151	△ 3
雑収入	2,955	3,490	△ 535
借入金等収入	7,040	7,040	0
前受金収入	2,854	3,018	△ 165
その他の収入	31,668	32,790	△ 1,122
資金収入調整勘定	△ 33,531	△ 39,064	5,533
① 当年度資金収入合計	211,733	213,366	△ 1,633
前年度繰越支払資金	65,580	65,580	0
収入の部合計	277,313	278,946	△ 1,633

① 当年度資金収入合計

・予算と比較し、約16億円上回り、約2,134億円となりました。

【主な要因】

- ① 国や地方自治体からの補助金が増加したことにより補助金収入が約35億円上回りました。
- ② 企業等からの受託事業等が増加したことにより付随事業・収益事業収入が約7億円上回りました。
- ③ コロナ禍による影響からの回復により医療収入が約9億円上回りました。

② 当年度資金支出合計

・予算と比較し、約96億円下回り、約2,073億円となりました。

【主な要因】

- ① 施設工事の実施・医療機器の購入などの設備投資が翌年度以降に繰り延べになったため、施設関係支出が約30億円、設備関係支出が約28億円下回りました。
- ② 支払が翌期となる取引が予算策定時の想定より増加したことにより、資金支出調整勘定が約48億円下回りました。

③ 当年度資金収支差額

・資金収入が増加し、資金支出は減少したため、予算と比較し、約113億円上回り、約61億円となりました。

(支出の部)

科 目	補正後予算	決 算	差 異
人件費支出	70,671	71,282	△ 611
教育研究経費支出	31,138	32,119	△ 981
医療経費支出	76,611	77,661	△ 1,050
管理経費支出	6,096	5,782	314
借入金等利息支出	15	11	4
借入金等返済支出	160	150	10
施設関係支出	17,015	14,056	① 2,958
設備関係支出	11,003	8,251	① 2,752
資産運用支出	650	677	△ 27
その他の支出	14,208	14,351	△ 143
予備費	1,645	0	1,645
資金支出調整勘定	△ 12,286	△ 17,059	② 4,773
② 当年度資金支出合計	216,925	207,281	9,645
次年度繰越支払資金	60,387	71,665	△ 11,277
支出の部合計	277,313	278,946	△ 1,633
③ 当年度資金収支差額	△ 5,192	6,085	△ 11,277

(2) 事業活動収支計算書

単位：百万円

		科 目	R04年度決算	R03年度決算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	11,714	10,537	① 1,178
		手数料	575	549	26
		寄付金	1,503	1,484	19
		経常費等補助金	13,995	14,481	△ 486
		付随事業収入	7,010	6,796	215
		医療収入	170,637	162,470	② 8,167
		雑収入	3,537	3,315	222
		① 教育活動収入 計	208,971	199,632	9,340
	事業活動支出の部	人件費	72,266	68,943	① 3,322
		(退職給与引当金繰入額)	(3,220)	(3,057)	(163)
		教育研究経費	47,679	42,696	② 4,983
		(減価償却額)	(15,558)	(14,719)	(839)
		医療経費	77,448	74,357	③ 3,091
		管理経費	6,541	5,990	550
(減価償却額)		(800)	(771)	(29)	
徴収不能額等		129	91	39	
② 教育活動支出 計	204,063	192,077	11,985		
教育活動収支差額			4,909	7,554	△ 2,645
教育活動外収支	収事業の活動	受取利息・配当金	126	157	△ 31
		その他の教育活動外収入	4	0	4
	教育活動外収入 計		130	157	△ 28
	支事業の活動	借入金等利息	11	0	11
		その他の教育活動外支出	0	5	△ 5
教育活動外支出 計		11	5	6	
教育活動外収支差額			118	152	△ 34
③ 経常収支差額			5,027	7,707	△ 2,679
特別収支	収事業の活動	資産売却差額	0	5	△ 5
		その他の特別収入	668	3,800	△ 3,132
	特別収入 計		668	3,805	△ 3,138
	支事業の活動	資産処分差額	39	46	△ 7
		その他の特別支出	41	15	26
特別支出 計		80	61	19	
特別収支差額			588	3,744	△ 3,156
予備費			0	0	0
④ 基本金組入前当年度収支差額			5,615	11,451	△ 5,836
基本金組入額合計			△ 17,501	△ 21,334	3,833
当年度収支差額			△ 11,886	△ 9,883	△ 2,003
前年度繰越収支差額			△ 110,723	△ 100,840	△ 9,883
基本金取崩額			0	0	0
翌年度繰越収支差額			△ 122,609	△ 110,723	△ 11,886
(参考)					
事業活動収入 計			209,769	203,594	6,174
事業活動支出 計			204,154	192,144	12,010

① 教育活動収入

・前年度と比較し、約 93 億円増加し、約 2,090 億円となりました。

【主な要因】

- ① 新学部の開設や学生定員の増加により、学生生徒等納付金が約 12 億円増加しました。
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響のため減少していた外来・入院収入が回復してきたことにより、医療収入が約 82 億円増加しました。

② 教育活動支出

・前年度と比較し、約 120 億円増加し、約 2,041 億円となりました。

【主な要因】

- ① 診療体制を更に充実させるため医療スタッフを増員したことなどにより、人件費が約 33 億円増加しました。
- ② 施設や設備の取得に伴う減価償却費の増加により、教育研究経費が約 50 億円増加しました。
- ③ 感染症対策や医療収入の増加に伴い薬品費や診療材料費が増加したことにより、医療経費が約 31 億円増加しました。

③ 経常収支差額

・教育活動支出が教育活動収入以上に増加したことにより、前年度対比で約 27 億円減少し、約 50 億円となりました。

④ 基本金組入前当年度収支差額

・経常収支差額の減少に加え、特別収支差額も減少したため、前年度対比で約 58 億円減少し、約 56 億円となりました。

(3) 貸借対照表

(資産の部)

単位：百万円

科 目	R04年度決算	R03年度決算	増 減
固 定 資 産	248,171	241,509	6,662
有形固定資産	224,584	220,367	① 4,218
土地	59,822	58,954	868
建物	120,372	120,139	233
その他の有形固定資産	44,390	41,273	3,117
特定資産	13,643	13,173	470
その他の固定資産	9,943	7,969	1,974
流 動 資 産	109,493	98,048	11,445
現金預金	71,665	65,580	② 6,085
その他の流動資産	37,828	32,468	5,360
資 産 の 部 合 計 ①	357,664	339,557	18,107

(負債の部)

科 目	R04年度決算	R03年度決算	増 減
固 定 負 債	46,976	39,241	7,736
長期借入金	12,000	5,000	① 7,000
学校債	3,800	4,470	△670
その他の固定負債	31,176	29,771	1,406
流 動 負 債	26,069	21,313	4,756
短期借入金	0	0	0
短期学校債	670	110	560
その他の流動負債	25,399	21,203	② 4,196
負 債 の 部 合 計 ②	73,046	60,554	12,492

(純資産の部)

科 目	R04年度決算	R03年度決算	増 減
基本金	407,227	389,726	17,501
第1号基本金	392,313	375,987	16,326
第2号基本金	483	483	0
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	14,431	13,256	1,175
繰越収支差額	△122,609	△110,723	△11,886
翌年度繰越収支差額	△122,609	△110,723	△11,886
純資産の部合計 ③	284,618	279,003	5,615
負債及び純資産の部合計	357,664	339,557	18,107

① 資産の部合計

・前年度対比で約 181 億円増加し、約 3,577 億円となりました。

【主な要因】

- ① 各施設での再編事業の進行や機器の取得、医療情報システムを更新したことにより、固定資産のうち有形固定資産が約 42 億円増加しました。
- ② 収入が増加したことや、新学部設置に係る文部科学省の基準に合致させるため、金融機関から借入れを行ったことにより、流動資産のうち現金預金が約 61 億円増加しました。

② 負債の部合計

・前年度対比で約 125 億円増加し、約 730 億円となりました。

【主な要因】

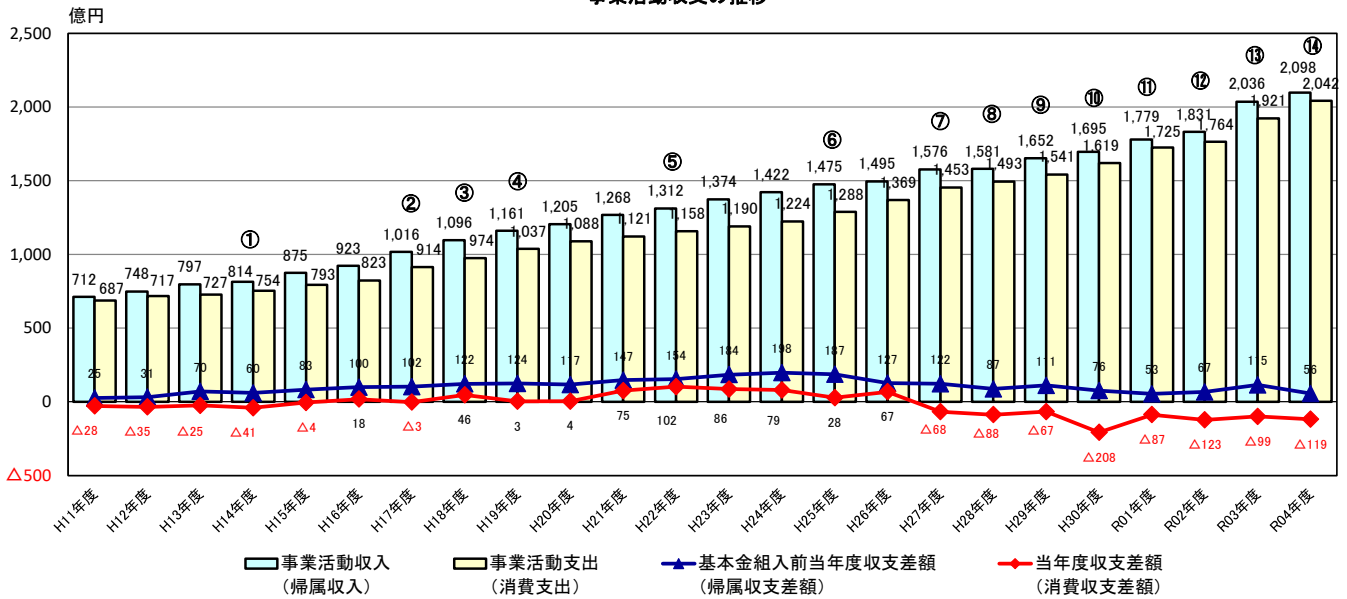
- ① 金融機関からの借り入れにより、固定負債のうち、長期借入金が 70 億円増加しました。
- ② 教育研究経費や施設・設備関係支出の支払いで期をまたぐものが増加したことにより、流動負債のうち、その他の流動負債が約 42 億円増加しました。

③ 純資産の部合計

・事業活動収支計算書の基本金組入前当年度収支差額が約 56 億円増加したことにより、約 2,846 億円となりました。

25. 財務状況の推移

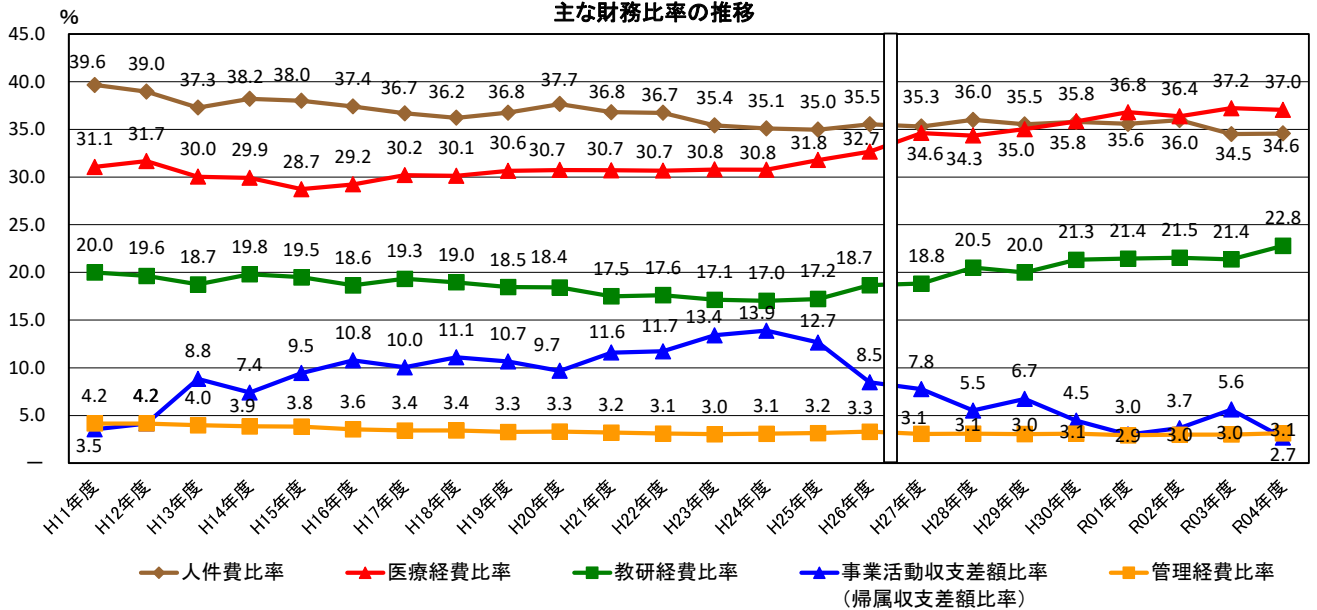
事業活動収支の推移



教育・研究・診療の充実を図るため、以下の事業を実施してきました。

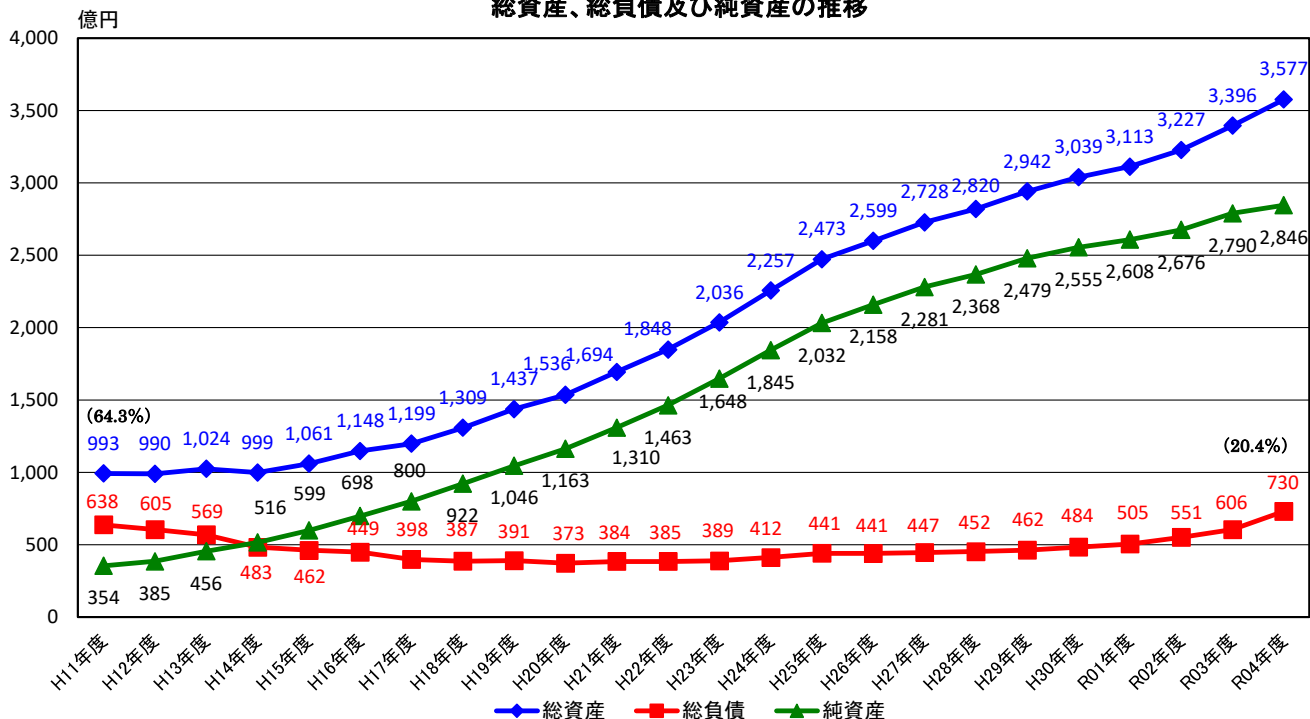
①平成 14 年度 順天堂東京江東高齢者医療センター開院 ②平成 17 年度 練馬病院開院 ③平成 18 年度 静岡病院増床、スポーツ健康医科学研究所竣工 ④平成 19 年度 スポーツロジックセンター設立 ⑤平成 22 年度 静岡県三島市に保健看護学部開設 ⑥平成 25 年度 順天堂医院 B 棟 I 期竣工 ⑦平成 27 年度 国際教養学部開設 ⑧平成 28 年度 順天堂医院 B 棟 II 期・C 棟竣工、さくらキャンパス新体操競技場・新女子寮竣工、高齢者医療センター増床 ⑨平成 29 年度 浦安病院 3 号館竣工 ⑩平成 30 年度 新研究棟 (7 号館) 竣工 ⑪令和元年度 保健医療学部開設、練馬病院 3 号館竣工 ⑫令和 2 年度 新研究棟 (7 号館 II 期) 竣工、さくらキャンパス新講義棟・新女子寮が竣工 ⑬令和 3 年度 浦安・日の出キャンパス I 期校舎 (医療科学部) 及び体育館竣工 ⑭令和 4 年度 医療科学部開設。

主な財務比率の推移



上記は財務比率の推移を示しています。平成 27 年度の学校法人会計基準改正に伴い、事業活動収支差額比率を除く各比率の分母を従来の帰属収入 (新基準の事業活動収入) から経常収入に変更しています。令和 4 年度は教研経費率が上昇していますが、光熱水費や減価償却費、施設改修に係る費用等が増加したことが主な要因です。

総資産、総負債及び純資産の推移

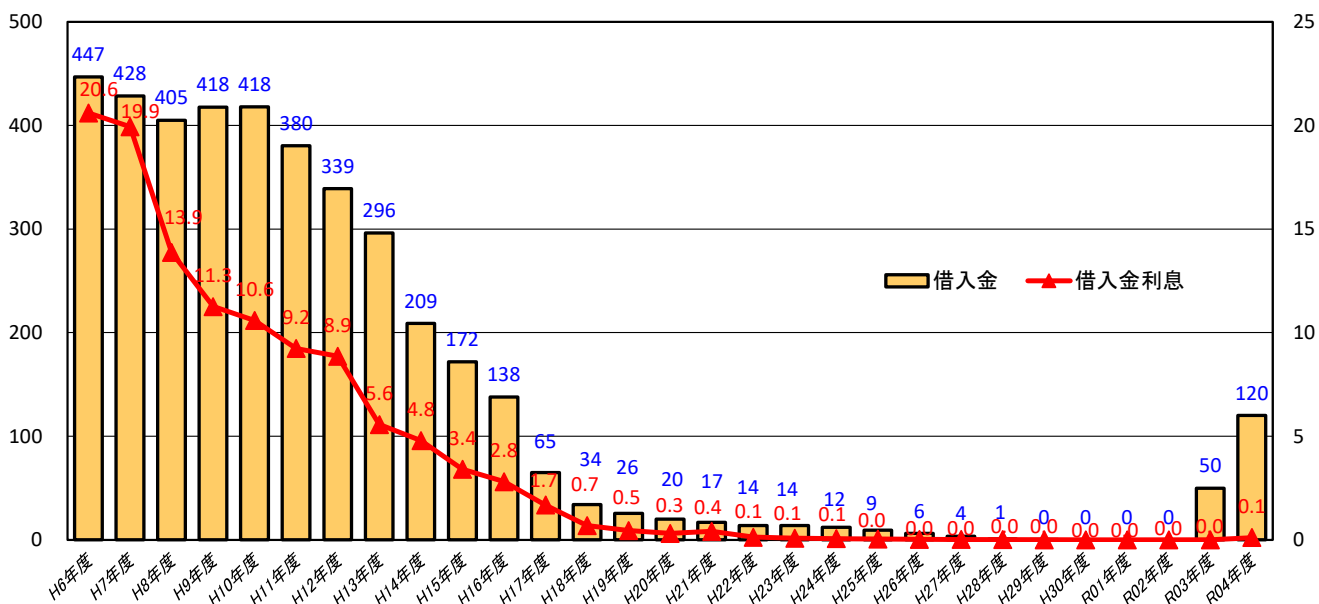


上記のグラフは総資産、総負債、純資産（平成 27 年度学校法人会計基準改正以降の呼称）の推移を示しています。平成 5 年に竣工した順天堂医院 1 号館建設資金の大半を借入金で賄ったため、平成 13 年度まで総負債が純資産を上回っていました。その後は堅調な事業活動収支差額（帰属収支差額）を維持しつつ、有利子負債の返済を前倒しで行い、施設・設備の拡充を自己資金により行ってきました。これらの成果により総負債比率（総負債／総資産）は平成 11 年度の 64.3%から令和 4 年度には 20.4%と、大幅に改善しています。

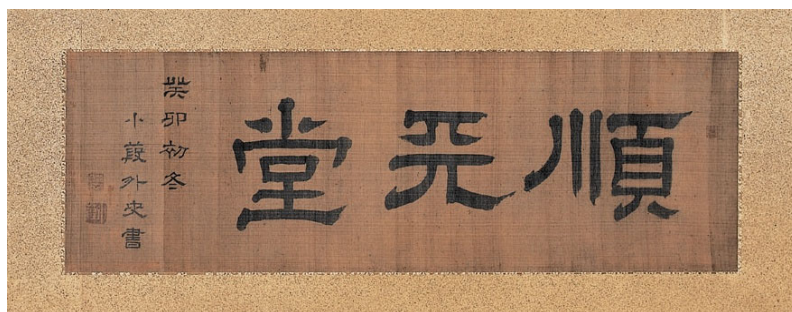
借入金残高
単位：億円

金融機関等借入金及び同借入金利息の推移

借入金利息
単位：億円



総負債比率改善のため借入金の返済を積極的に進めてきました。令和 4 年度は令和 3 年度に引き続き新学部設置に係る文部科学省の基準に合致させるため、金融機関から借入れを行いません。



Juntendo, Tokyo, Established 1838